マス	<del>I</del> I-1							記入日	コー 令和	05年05月25日
1	事務事業名	No.	329	住宅・建	築物安全スト	・ック形成事	業			
		政策	F	安全で安	心して暮らせ	よるまち				
怒	この事務事業	施策		州博でも	え合い、災	宝に強いま	ちをつくろ	う		
劉	の位置		事業	防災・減		<b>日に近いる</b>	<u> </u>			
事務事.	主管課名				火	一冊巨点	7 1 15 # 1	7#		
			計画課		000) 5 5 1. 5	課長名			_ <u> </u>	-
စ္က[	この事務事業の関	初始時	<u> </u>		003) 年度から			受託事務	■ 自治事務	5
現	この事務事業の材	艮拠法	<del>:</del> 令	建築物の	耐震改修の仮	足進に関する	法律			
状	事業の概要					現在の	犬沢とこの事	務事業を行う	根拠または理	₽曲
			I	TI == ++ 1/4 =+	Att 1 1 1 3 4		-			
Р	昭和56(1981)年							基づく国の基		
	築物については	、大規	見模なり	也震による倒り	裏の危険性が	震化 震化 器	軽の目標が全	お和7(2025)年に	こ95%となる。	ように定
Ā	高いため、耐震	診断	及び耐急	雲改修工事等(	こついて補助	められ	<b>ı、これまて</b>	ぶ以上に耐震改	修戸数を増や	す必要が
Ñ	金を交付し、市					ある。				
及	また、既存建築							「利用する大規	構建筑物や駅	7. 自 輸 洋 改
びび	のアスベストに							へて耐震診断及		
_				司帥且及い除る	5月用に別し					
Ď	て補助金を交付	りる。	•					により、国及	ひ宗においく	. 補助金の
0	·-					父何 2	メニューが追	<b>追加された。</b>		
	「SDGsの取組:	9, 11,	13」							
				昭和56(1	981) 年5月以	前の旧耐震	基準で建築る	された木造住宅	<b>について、</b> 配	付票診断員
	R4年度に実施した	-旦体	的な		、耐震診断を					
	事業の方法、手順						・判定された	住宅の耐震改	修わ陉却工事	についてエ
	る成果等	K. 18			の幅来、III原 部を補助した		- 11AC C 10/C	正しい間反以	ᇎᄼᆟᄽᄱᆛᅩᆍ	,
	る以木守			尹貝の一	ロック 作り しん	- 0				
ŀ							(4) ==== !!:			- 1-11-17-
	事務事業を取り着	₹く状	況は過	云と比べ変化	としているか	<b>\</b>	(1)活動指	標(事務事業	の活動量を表	ず指標)
Ī	耐震改修と	っ除却	により	対象となる建	築物は減少し	ている。		名称		単位
		. 103,0001.	1-01 )	713KC 0 0 X	X 13101137		① 前任度1	月1日現在にお		
	変 化							の無い木造住宅		<del>心奴   1/4  </del> 棟
	内容					-	么	<u>の無い不迫性も</u>	5 奴	
	対象(この事業の	対象、	. 範囲。	となる人、物	)		(2)対象指	標(対象の大	きさを表す指	「標)
	耐震性を満たして						1	名称		単位
	側辰住で河にして	61/41	八仕七			-				
								断を行う木造信		棟
L								断を行う非木造		棟
	目的(この事業によ	って	上記対象	えをどのような	状態にしたい	のか)	(3) 成果指	標(目的の達)	成度を示す指	<b>á標)</b>
	おまれなみ吟却に	F (1)	計量ルク	D.伊.米太.网 Z			1	名称		単位
	耐震改修や除却に	<b>より</b>	別展160	の促進で図る。		-				
								<u> 多を行った木造</u>		棟
-								<u> 多を行った非オ</u>		
	結果(上位基本事	業の	意図)				(4) 結果の	成果指標(上 <sup>·</sup>	位基本事業σ	)成果指標)
	建築物の耐震化を			雪の袖宝からる	1日の生命と	財産を守	T	名称		単位
		灰.	○ 、 ♪巴左	区へ一次ログ・ウー	ᅡᄊᄽᅩᄞ		① 住宅のi		•	- 単位
	る。							<u>们辰化华</u>		70
ŀ					_		2			
	事務事業の各種指	旨標の	実績と	:見込及び目ホ	票					
ľ	Halm	Ι.		R3年度	R4年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	指標 \ 年度	<u> </u>	单位	実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
}	(1) Ø	1	+串	20,666	20, 791	<u> </u>				
			棟							
ŀ	活動指標	2	棟	1, 788	1, 510	1, 73				1, 331
	(2) <b>の</b>	1	棟	28	80	3(		80 80	80	80
L	対象指標	2	棟	0	1		0	<u>1  1</u>	1 1	1
	(3) の	1	棟	10	9	1	1	9 9	9	9
	成果指標	2	棟	0	1		)	1 1	1	1
Ī	(4)の結果の	1	%	91	92	9:		94	95	96
	成果指標	2		- "	<u> </u>		1	1	1	
ŀ			会計	01 一般会計	<u> </u>		1	款 08	項 05	目 01
-				R3年度	R4年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	コスト		年度							
ļ	*****			実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
	事業費(決算又は予算額)		単位	16, 587	21, 874	18, 64				
	国庫支出:	<u> </u>	千円	8, 642	10, 050	8, 77				
	財皇生		千円	3, 464	4, 899	4, 00	5, 00	)3 4, 787	4, 962	5, 012
	源 柚方倩		千円	0	0		)	0 0	0	
	内   スの価		千円	0	0		o l	0 0		
1	訳   での他		丰用	4, 481	6, 925	5, 87	*	•		
- ,				ן די, די ון	0, 020	0, 07	., , , , ,	, o i o i c	. IT, TU/	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

230 ×

5

0

0

176

22, 984

766. 1

230 × 5

0

176

333 26, 639

26, 639

230 ×

0

176

25, 763

322 25, 763

230 × 5

0

176

33, 963

424. 5 33, 963

230 ×

0

176

26, 663

333. 3 26, 663

325 × 2

0

129

24, 356

304. 5 24, 356

正職員従事時間×人数 時間×人

正職員以外の人件費

トータルコストA+B+C 単位あたりコスト (1) (トータルコスト/(2)の対象指標) (2)

その他の費用C

325 ×

0

129

681

0

19, 069

千円

千円

千円/棟

千円/棟

様式1-2 <u>事務事業名 No. 329 住宅・建築物安全ストック形成事業</u>

2		この事業の必要性は薄れて	■ 得られ	ている		耐震改修や	や除却により建築物の耐震化が進んでいる。	
2 評価		いませんか。十分な成果が 得られていますか?	□ 得られ	ていない	理由			
CHECK	目的妥当性	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	<ul><li>■ ある</li><li>□ ない</li></ul>	その理由		I E宅から店舗	や事務所などの一般建築物へ拡大する。	
	往	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	□ある	その理由		き建築物の耐	震化を促進していく必要があるため。	
	有	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容	補助金の	の上乗せ等	等により申請	<b>背件数を増加させる。</b>	
	効性	目的達成状況	内容	ていなし	,۱۰		刃の耐震化が進んでいるが、耐震化率は目標に達	Ēυ
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	口指定管		口補助	間への全部委託 助金・負担金助成 ■市の直営 なは間接的に補助金を交付している。	
	効.	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容			<i>い</i> ため統合で 施している事	ゔきない。 事業であるため廃止できない。	
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容	現状で道	適正であ <i>る</i>	<b>3</b> .		
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	■ ある □ ない □ 受益者		現状で適		耐震改修工事等の負担を軽減するため市独自 <i>0</i> 助を拡充する。	う補
3改革改善案	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 意 対応策	が必		のため、	さらなる対策	策 住宅以外の一般建築物に対しても 震化を促進するため、補助対象を 対応策 げる。	
A C	年	年度の事業計画は前 度から変更・追加は 前年 るか	油田	診断や耐  金を交付		事等に対して	で 変更 補助金を交付し、耐震化を推進す 追加。	
T	今	後の事業・コスト・成果の	の方向性				<b>薬業の方向性、改革・改善案</b>	
OZ		□ 拡大 □ 改善 ■ 現状 □ 統合 □ 完了 □ 廃止・				住宅以外	らの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内 トの一般建築物(店舗・幼稚園など)の施設に い耐震化を促進するため、補助対象をさらに広 見がある。	-
	3.	ストの方向性 → 維持						
	成	果の方向性 → 維持						

1	争伤	<del>事</del> 果石	NO.	<u> 80</u>			レフナナ						
事務事業	この事	事務事業	<u>政策</u>			心して暮らせ			<del></del>	,			
肦		位置	<u>施策</u>			え合い、災	害に強いす	: 5	をつくろう				
事				事業	防災・減	<u>災</u>							
莱	主管	管課名		安全調			課長名		池野 雅	尌			
の	この事	務事業の開	開始時	<u> </u>	昭和41(1	966) 年	事務区	<u>分</u>	□法定受	<u> </u>	■ 自治事務	Ţ	
現	この事	務事業の構	見拠法	令	水防法								
伏	事業の	概要					現在の	状污	アとこの事業	8事業を行う	根拠または理	曲	
			n.L. =1.1.2	+ + /- •									144
Р		に備え、水			<b>つ</b> 。						発生頻度が全		
L		体制を確立					加傾	向に	こあり、特に	こ、迅速な対応	応を求められ	る突発	的
Ā	SD	Gsの取り	組み	: 11, 1	3, 17		で局:	地的	りな豪雨、し	いわゆるゲリ	ラ豪雨の発生	回数が	増
N			-	•	•		加し			,			_
及										きままり はま	化と水防体制	の確立	
び												JO711年37	•
							עואל.	思调	似の 市物で 2	図る必要があ	<b>ි</b>		
D													
Ō													
					新型コロ	ナ感染症対策	きを講じ、 は	竟川	左岸で訓練	を実施した。	1		
	R4年度	に実施した	- 具体	的な									
		方法、手順			╅								
	る成果		· 15	XI - XI									
	の水木	. 1											
	古沙士	** * * * ! ! *	E / 41	2001-1-20	1 + 1, 11, -> <del></del> /	b1 -1.71		/4	/江手扑!	/古沙古米/	カ江科目ナナ	= -#- #5.42	<b>5</b> \
	争務争				去と比べ変化		`	(I	)		の活動量を表		
		対象に変化	こがな	いため	、継続して実	·施		L		名称			単位
	ats 11.							(1)	水防訓練	団体数			団体
	変化							(2)					
	内容								•			<u> </u>	
	+446 / =	の声巻の	いる	<b>佐田</b>	レナンフリー地	1)		(2	八分名比插	/芸色の士	* * * * * * * *	· +亜 /	
		- の争来の	刈豕、	、軋鬥	となる人、物	1)		(2	2) 刈豕怕倧		きさを表す指		
	市民									名称			単位
								(1)	人口(4.	1)			人
								<b>(2</b> )					
	日的(-	の車業によ	って	上記分名	えをどのような	好能にしたい	(MAN)	(3	) 成里圪堙	(日めの達)	成度を示す指	51種 /	
								(0	)				*** * * *
				どの風フ	水害、土砂災署	害に対し、応	急対策を			名称			単位
	身につ	けてもらう	0					(1)	訓練参加	<u>者数</u>			人
								2					
	結果(上	L位基本事	業の	意図)				(4	1) 結果の成	果指標(上位	立基本事業σ	)成果指	(標)
					身につけ、自然	ンクをはけり	ハズウェ			<del>- 17.12.17.11                            </del>			<u>単位</u>
					才に フロ、日ブ	かの地域は日	ग्रह्मिक	<u>a</u>	沙叶田八				
	ようなん	意識付けを	打つ。							団(基本団員	<u>)組織致</u>		<u>団体</u>
								2	自主防災	祖谳致			団体
	事務事	業の各種指	言標の	)実績と	: 見込及び目ホ	票							
	17.12	\ <del>/</del>	Τ,	24 /L	R3年度	R4年度	R4年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年	
	指標	\ 年度	4	单位	実績値	計画値	実績値		計画値	目標値	目標値	目標	
	(	(1)の	1	団体	4	12		2	12	12			12
		動指標	2	<u> </u>	<del>                                     </del>	12	'	$\top$	12	12	12		
		<u> 刻 日 1 示</u> (2) の	1	人	61, 226	61, 218	61, 21	8	61, 375	61, 656	61, 938	61	2, 219
		(2) <b>(7)</b> 象指標	2	<del>  ^</del>	01, 220	51, 210	01, 21	╁	01, 070	01,000	01, 000	- 02	_, _ 13
		<u>終191宗</u> (3) の	1	人	37	330	27	8	330	330	330		330
		果指標	2	<del>  ^</del>	37	330		4	330	330	330		000
				団体	13	13	1	3	12	13	13		13
	(4) 0	の結果の	1	団体	25	25		.5 .5	13 25	25			25
		<u>果指標</u>	2					Ü					
	予算費	H	1 3	会計	01 一般会計		D4 /= :==		DC 4=	款 09	項 01		03
	コスト			年度	R3年度	R4年度	R4年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年	
		**			実績値	計画値	実績値	4	計画値	目標値	目標値	目標	·旭
		算又は予算額)		単位	258	263	24	_	1, 086	1, 022	779		779
		国庫支出金	<u> </u>	千円	0	0		0	0	0			0
		県支出金		千円	0	0		0	0	0	0		0
		<u>地方債</u>		千円	0	0		0	0	0	0		0
		その他		千円	0	0		0	0	0	0		0
	訳	一般財源		千円	258	263	24	1	1, 086	1, 022	779		779
	人件費			主円	1, 200. 6	1, 200. 6	1, 111.	_	3, 648. 2	3, 648. 2	3, 648. 2		648. 2
		量 員従事時間×	人数	時間×人	70 × 4	70 × 4		4	119 × 8	119 × 8			× 8
		戦員以外の人		千円	187	187		8	202	202	202		202
	その他	の費用C	~	宇田	519	519	12		122	122	122		122
		<u>の复用し</u> ルコストA+	R+∩	宇田	1, 977. 6	1, 982. 6	1, 473.		4, 856. 2	4, 792. 2		1 1	549. 2
		ルコスドAF たりコスト		<b>上 丁                                   </b>	1, 977. 0	1, 902. 0	1,413.	0	4, 650. Z 0. 1	4, 792. Z 0. 1	4, 349. Z 0. 1	4, (	0.1
		/こり コ <b>ᄉ</b> P ′(2)の対象指標				0		0					0. 1
	(トーダルコスト/	(4) の対象指標	ハヘ	千円/	l 0l	OI.		U	0	0	. 0		U

事務事業名 No. 80 水防訓練事業 近年、突発的な豪雨、台風などが多く発生しているため、 この事業の必要性は薄れて ■ 得られている の事業は必要である。土のう作成、積み工法などの技術の向 上、水防資機材の整備など、災害に対しての体制づくりは出 評 理由 いませんか。十分な成果が 価 得られていますか? □ 得られていない 来つつある 対象を見直すのではなく、内容(訓練など)を見直す。 事業進展等による環境変化 Н □ ある に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ε 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? K 風水害に対しての応急対策を身につけ、自分の地域は自分で守れるよ 事業進展等による環境変化 □ ある うになることは環境の変化に左右されない事であるため、見直す必要 に伴い、目的を見直す(目 その理由はない。 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 各団体に対して訓練参加をよびかける。 今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ 内容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 計画値どおり達成できた。 効性 目的達成状況 内容 口民間への全部委託 □民間への一部委託 市関与の必要性 口指定管理 □補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 水防訓練は水防法の規定により市が実施するものであるため。 防災訓練と類似事業と思われるかもしれないが、防災訓練は災害対策基本法等 事務事業の統廃合により、 、水防訓練は水防法とそれぞれ基となる法が異なるため、統廃合はそぐわない 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 従事時間をこれ以上減らす事は不可能である。また、これ以上従事時間(人件 現状より事業費・人件費を 費)を減らすと訓練などの開催に影響がでるため、人件費の削減はそぐわない 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内 容 できないか?) 直接的な受益者はなし □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 公平 また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 防災講座、防災講演会などを通じて 突発的な集中豪雨に最も迅速に対応 事業実施上の課題、住 できるのは地元自主防災会と消防団 自主防災会の育成をする。 革 民・議会等からの意見 であるが、自主防災会についてはま 対応策 意見 改 と対応策 だ自分たちが率先して応急対策にあ たるという意識が低い。 大型土のう作成訓練、水のう作成訓 案 境川左岸において土のう作成訓練等 R5年度の事業計画は前 変更 練等新規の訓練を追加する。 を実施 前年度 年度から変更・追加は 参加団体を区長会から自主防災会に あるか 追加 C 変更 T 今後の事業・コスト・成果の方向性 今後の事業の方向性、改革・改善案 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 風水害や土砂災害が発生した際には、消防団の活躍が Ν 期待されるが、市職員や消防団の対応だけでは限界も 改善 現状維持 あるため、自主防災会を今後育成強化していく必要が 縮小 ある。 統合 完了 廃止・休止 コストの方向性 維持 成果の方向性

増加

様式1-1 令和05年06月06日 記入日 <u>新総合通信ネットワーク通信設備整備事業</u> 安全で安心して暮らせるまち 事務事業名 No. 1 事 政策 この事務事業 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 務 施策 の位置 基本事業 防災安全課 防災・減災 業 主管課名 課長名 池野 雅樹 この事務事業の開始時期 ഗ 平成13(2001)年 事務区分 ■ 自治事務 □法定受託事務 現 災害対策基本法 この事務事業の根拠法令 状 事業の概要 現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 阪神淡路大震災を契機に災害の発生を予防し、又は災 県が整備している高度情報ネットワークにかかる維持 Р 管理を行う 害の拡大を防止するために通信網の整備が必要となっ SDGsの取り組み:11、16 たため。 Α 県からの災害情報の入手や県への被害報告を迅速に行 Ν い、災害対応に資するとともに、無線回線により県や 及 Ü 他市町村との通信を確保できる。 D 0 災害時においては被害状況報告、平常時においては通信訓練を実施した。 R4年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等 事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか (1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 対象に変化がないため、継続して実施 名称 単位 <u>(1)</u> 通信訓練実施回数 回 変化 内容 対象(この事業の対象、範囲となる人、物) (2) 対象指標(対象の大きさを表す指標) 単位 ネットワーク通信システム <u>名称</u> ネットワーク通信システム (1) 台 目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) (3) 成果指標(目的の達成度を示す指標) 単位 県内の気象及び災害情報を受け取る 名称 (1) 気象等警戒情報 件 (2) 結果(上位基本事業の意図) (4) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) 災害等から住民を守る 単位 <u>名称</u> (1)防災情報メール配信数 回 <u>あ</u> 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標 R4年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 単位 指標 \ 年度 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 (1)の 回 12 12 12 (1) ② ① ② <u>活動指標</u> (2)の 台 対象指標 <u>(1)</u> 件 978 1.200 114 1 (3) D 成果指標 2 (4)の結果の 1 回 32 35 46 <u>成果指標</u> 款 予算費目 01 一般会計 09 項 01 目 04 <u>会計</u> R3年度 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 年度 コスト 目標値 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 2.403 2. 520 2.489 事業費(決算又は予算額) A 単位 0 0 0 千円 0 0 国庫支出金 0 0 0 0 0 県支出金 地方債 千円 0 0 0 0 0 0 0 源 千円 0 0 0 0 0 0 0 内 <u>千円</u> その他 0 0 0 0 0 0 訳 2, 520 一般財源 千円 403 489 0 0 0 0 件費B 丰円 0 529 588 0 0 0 899.8 正職員従事時間×人数 時間×人 43 × 58 × 43 × 0 × 0 0 × 0 0 × 0 0 × 0 4 3 正職員以外の人件費 千円 62 60 121 0 0 0 0 千円 その他の費用C 62 61 61 0 0 0 0 0 2, 994 3, 480. 8 3, 138 0 0 0 <u>トータルコストA+B</u>+C 千円 単位あたりコスト (1) (トータルコスト/(2)の対象指標) (2) 千円/台 994 3, 480. 8 3, 138 0 0 0 0

0

0

0

0

0

千円/

0

		<u> </u>	新税	治通信不	<u>ットワーク</u>	通信設備:	<u> 整備事業</u>	
2評価		この事業の必要性は薄れて いませんか。十分な成果が 得られていますか?	■ 得られ □ 得られ	こっている こていない				通信する重要なシステムであり、この事だ、成果は十分得られている。
E C Y	目的妥当性	大・縮小)必要はありませんか?	<ul><li>□ ある</li><li>■ ない</li></ul>	その理由	環境の変化では影響さ		県のシス	テムの維持管理であるため、市側の要因
	往	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	<ul><li>□ ある</li><li>■ ない</li></ul>	その理由	環境の変化では影響さ		県のシス	テムの維持管理であるため、市側の要因
	有	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容	県のシス	ステムの維持	持管理であ	らるため、	市側では成果は向上させられない。
	効性	目的達成状況	内容	市で気象	象情報をシン	ステムによ	って得る	ことができるため、目的は達成している
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容	口指定管 災害情報		□補助 ど、愛知県	間への全部 助金・負担 具と連携す	
	効	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容	県とのi ようなi	通信手段ので 事業はない。	確保のため 。		ムの維持管理などのため、統廃合できる
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容		と事業費は 減する方法(		平常時に	おいては人件費もあまり必要ではないた
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	□ ある □ ない ■ 受益者		現状で適正検討が必要		直接的な	C受益者はなし
3改革改善案	民	:業実施上の課題、住 :・議会等からの意見 意 対応策	見る。	-ムの操作	り配属され 方法に戸惑	うことが	あり対応	定期的に操作研修会を実施し、確実 に操作できるようにする。 策
AC	年	毎度の事業計画は前 度から変更・追加は 前年 るか			ては被害状は通信訓練			更 継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。 加
T	今	後の事業・コスト・成果	の方向性					1性、改革・改善案
02		□ 拡大 □ 改善 □ 現状 □ 統合 □ 完了				無停電場 当該市町 必要。) 令和5(	装置につい 「村の対応 2023) 年度	な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 いての修繕更新等は愛知県ではなく、 ことなる。(5年毎に蓄電池の交換が ほから「防災力強化・維持事業(防災 注)」に統合する。
		ストの方向性 → 維持						
	成	:果の方向性 → 維持						

様式1-1 記入日 令和05年06月06日

(3)	事務事業名	No.	82		策定見直し事	· <del>**</del>					1004007001
<u>.</u>	<u> </u>										
女	この事務事業	<u>政策</u>			心して暮らせ		+ + ^	173			
	の位置	施策			え合い、災害	<u> きに強いま</u>	らをつ	くろう			
	. —	基本	<u> 事業</u>	防災・減	<u>災</u>	-m = +					
ŧ	主管課名		安全課			課長名		野雅			
)[	この事務事業の開	]始時	期	昭和37	(1962)年	事務区	}	法定受	<b>E託事務</b>	■ 自治事	务
犯	この事務事業の根	视法	<del></del>	災害対策	基本法						
<u> -</u> -	事業の概要					現在の計	ションコ	の車系	&車業を行う	根拠または3	<b>伸</b> 由
	•	=				1 1					
<b>&gt;</b>	みよし市地域防?									い、みよしī	市地域防災
_	る場合に関係機関	関の代	と表に 季	₹員を委嘱し、	防災会議を	計画を	修正す	┞る必要	<b>タがあるため</b>	0	
Ī	開催する。									計画に反映る	すべき対策
ì	その他、災害対抗	<b>等関</b> 语	あ計画	ii マーっアル	1. 等を作成す					画実務要覧の	
		*  N		a, ,—	V T C 1 F 1 X 1	加した			26-260 2501	四大勿女兄	775 5477 76
إ	る。	<b>0</b> Π <b>7</b> .	44 4	7				4++ ı	+0040		# <b>+</b> 7 +
<b>^</b>	SDGsの取り	組み:	11, 1	1						、財産を保証	
)										務及び優先す	
)						業務な	:どを非	丰常時個	憂先業務とし	て特定してる	おくこと、
						業務実	施に必	多要な資	資源の確保、	配分等の措置	置を講じて
								必要でも			
H				悪知胆の	地域防災計画	の修正生に	+ 1.1	古州村	防災計画の	目直しが生し	* た提合に
	D/年度に宇佐し +	. <b>日</b> /士·	6/1 / >		地域防災計画 を開催した。	1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜1〜	<b>ふり、</b>	11225	ラッグロ画の	ルロしかエし	ノル物ロに、
	R4年度に実施した					· 🖶 🗠 - +					
	事業の方法、手順	、指	宗に刃"	9   職貝问け	の図上訓練を	(美肔した。					
	る成果等										
Ţ	事務事業を取り巻	と十	湿什溫	キレルベホ/	トーアハスか		(1) 汗	動埃埵	(重級重要	の活動量を	ますお煙)
Ш				•			(リノロミ	划旧保			
	対象に変化	こがな	いため	、継続して実	施	L			名称	<u> </u>	単位
1	<del></del>					(	1) 防:	災会議			回
	変化						2)				
	内 容│					F	5/ 1				L
Ŀ											
	対象(この事業の	対象、	範囲る	となる人、物	1)		(2)対	象指標	(対象の大	きさを表す	指標)
	市民						1		名称	=	
	中氏					L.	<del></del>	_	—— 石州	1	単位
						<u>[(</u>	① 人I ②				人
L						(	2)				
	目的(この事業によ	ヘアト	- 記分角	たじの トニか	小牛给!! +-!\	クヤノ	(3) 吐!	里塢煙	(目的の達	は曲ねニナ	下 1曲 /
						(/)71\)				ᇚᇬᇎᄽᇌᇽ	
					仏忠にしたい	(ימכט	(0) 1965	不归不			
	万全な災害対策や				- 仏悠にしたい	_	$\Box$		名利	<b>Γ</b>	単位
					(人態にしたい	(	① 地 <sup>±</sup>			<b>Γ</b>	
					人態にしたい	(	$\Box$		名利	<b>Γ</b>	単位
	万全な災害対策や	応急対	対策が研		(人感にしたい	(	① ① 地 <sup>1</sup> ②	域防災	名利 計画修正回数	下 女	単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事	応急対 業の意	対策が研		(人思にしたい	(	① ① 地 <sup>1</sup> ②	域防災	名称 計画修正回数 果指標(上·	<sup>技</sup> 位基本事業(	単位口の成果指標)
	万全な災害対策や	応急対 業の意	対策が研		が感にしたい	(	1)地域 2) (4)結集	域防災 果の成	名称 計画修正回数 果指標(上· 名称	t 女 位基本事業(	単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事	応急対 業の意	対策が研		がない しだい	(	① 地址 ② (4)結集 ① 防:	域防災 果の成	名称 計画修正回数 果指標(上·	t 女 位基本事業(	単位口の成果指標)
	万全な災害対策や 結果(上位基本事	応急対 業の意	対策が研		がたい しだい	(	① 地址 ② (4)結集 ① 防:	域防災 果の成	名称 計画修正回数 果指標(上· 名称	t 女 位基本事業(	単位 回 の成果指標) 単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事 災害から住民を守	応急対 <b>業の</b> 意 る	対策が研 <b>意図</b> )	堂立される		(	1)地域 2) (4)結集	域防災 果の成	名称 計画修正回数 果指標(上· 名称	t 女 位基本事業(	単位 回 の成果指標) 単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事	応急対 <b>業の</b> 意 る	対策が研 <b>意図</b> )	<b>生立される</b> <b>見込及び目</b>	帶	(	1)地址 2) (4)結址 1)防: 2)	域防災 <b>果の成</b> 災情報	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回	K 效 位基本事業( K 可数	の成果指標)単位単位単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事 災害から住民を守 事務事業の各種指	応急対 業の意 る に標の	対策が研究図)	生立される <b>見込及び目</b> R3年度	票 R4年度		1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 \ 年度	応急対 業の意	対策が研 意図) 実績と 単位	<b>生立される</b> <b>見込及び目</b>	帶	(	1)地址 2) (4)結址 1)防: 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回	K 效 位基本事業( K 可数	の成果指標)単位単位単位
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 〜 年度 (1)の	応急対 <b>業の</b> 意 る <b>i標の</b>   1	対策が研究図)	生立される <b>見込及び目</b> R3年度	票 R4年度		1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 \ 年度	応急対 業の意	対策が研 意図) 実績と 単位	生立される <b>見込及び目</b> R3年度	票 R4年度		1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4</b> (1) (2)	対策が研 意図) 実績と 単位	生立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1	票 R4年度 計画値 1	R4年度 実績値 1	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>に標の</b> (1) (2)	対策が研える。 実績と 単位 回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生立される <b>見込及び目</b> R3年度	票 R4年度		1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	応急文 <b>業の意</b> る <b>1標の</b> (1) (2)	実績と 位 回 人	生立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1	票 R4年度 計画値 1	R4年度 実績値 1	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の	応急文 <b>業の意</b> る <b>非標の</b> (1) (2) (1) (2)	対策が研える。 実績と 単位 回 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1	票 R4年度 計画値 1	R4年度 実績値 1	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 ← 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標	応急文 <b>業の意</b> る <b>1標の</b> (1) (2) (2) (2)	大きがの 実績と し 人 回	<b>見込及び目</b> を R3年度 実績値 1 61,236	票 R4年度 計画値 1 61, 218	R4年度 実績値 1 61, 218	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 ← 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	応急文 <b>業の意</b> る <b>1標の</b> ① ② ① ②	実績と 位 回 人	生立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1	票 R4年度 計画値 1	R4年度 実績値 1	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動1の (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の無 成果指標	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>は標の</b> ① ② ① ② ① ②	対策が研える 実位 回 人 回 回	型立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1	R4年度 実績値 1 61, 218	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上・ 名利 メール配信回 R6年度 目標値	成 位基本事業( 可数 R7年度 目標値	単位 の成果指標) 単位 回 R8年度 目標値
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 ← 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>は標の</b> ① ② ① ② ① ②	大きがの 実績と し 人 回	<b>見込及び目</b> を R3年度 実績値 1 61,236	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1	R4年度 実績値 1 61, 218	1)地址 2) (4)結 1)防 2)	域防災 果の成 災情報 手度	名利 計画修正回数 果指標(上 名利 メール配信回 R6年度	K 放 位基本事業( N 回数	単位 の の成果指標) 単位 回 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業の各種指 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の標 (3)指標 (3)指標 (4)の結果の 成果結果の 成果に関する。 成果に関する。	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>は標の</b> ① ② ① ② ① ②	対策が研える 実 値 回 人 回 回 計	型立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計	票 R4年度 計画值 1 61, 218	R4年度 実績値 1 61, 218	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2)	域防災 果の成 災情報 平度値	名利計画修正回数 果指標(上・名利 メール配信回 R6年度 目標値	位基本事業( 可数 R7年度 目標値 可類 01	単位 の成果指標) 単位 回 R8年度 目標値
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動1の (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の無 成果指標	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>は標の</b> ① ② ① ② ① ②	対策が研える 実位 回 人 回 回	型立される 見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度	R4年度 実績値 1 61, 218	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域防災 果の成 情報 厚値 厚度	名利計画修正回数 果指標(上・名称メール配信回 R6年度 目標値	位基本事業( 可数 R7年度 目標値 現 01 R7年度	単位 の成果指標) 単位 回 R8年度 目標値 目 04 R8年度
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動1の標 (2)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の無指標 (5)の標 (4)の標 (5)の標 (5)の標 (6)の標 (7)の標 (7)の標 (8)の標 (8)の標 (9)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (2)の標 (3)の標 (4)の無指標 (4)の果指標 (5)の果指標 (5)の果まに (6)の果まに (7)	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>は標の</b> ① ② ① ② ① ②	対策がの 実位 回 人 回 回 計度	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2)	域ののは、大学のでは、ままりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりは、大学のでは、大学のいいは、大学のいいは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年標値 款 09 R6標値	位基本事業の R7年度 目標値 項 01 R7年度	単位   回   回
	お果(上位基本事業の各種指数字の各種指数字の各種指数字の各種指数のの表質を表現のの表別のの表別の表別の表別を表別の表別を表別の表別を表別の表別を表別の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域防災 果の成 報 度値 度値 0	名利計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年度 目標値  款	位基本事業( 可数 R7年度 目標値 項 01 R7年度	単位   回   回   回   回   回   回   回   回   回
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業 災害から住民を守事務事業の各種指 指標(1)の存 (2)の標 (3)が標 (3)が標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (5)の標 (5)の標 (6)の標 (7)の標 (7)の標 (8)の標 (8)のは (9)のに表 (9)のに表 (1)のに表 (1)のに表 (1)のに表 (1)のに表 (2)のに表 (3)のに表 (4)のに表 (4)のに表 (5)のに表 (5)のに表 (6)のに表 (7)のに表	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域 <b>大</b>	名利計画修正回数 果指標(上・名称メール配信回 R6年度 目標値	位基本事業( 面数 R7年度 目標値 項 01 R7年度	単位   回   回
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業の各種指 災害から住民を守 事務事業の各種指 指標(1)指の標 (2)象指の標 (3)象指標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (5)の標 (5)の標 (6)の標 (7)の標 (7)の標 (8)の標 (9)の標 (9)のに表する (1)のに表する (2)のにまする (3)のにまする (4)のにまする (4)のにまする (5)のにまする (5)のにまする (5)のにまする (5)のにまする (6)のにまする (6)のにまする (7)のにまする	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回数 R6年度 目標値  款	位基本事業( 可数 R7年度 目標値 項 01 R7年度	単位   回   回
	万全な災害対策や 結果(上位基本事 災害が多なの名種指 がは一をである。 事務には、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域 <b>大</b>	名利計画修正回数 果指標(上・名称メール配信回 R6年度 目標値	位基本事業の Table B	単位   回   回
	万全な災害対策や 結果(上位基本事業の各種指 災害から住民を守事務の各種指 指標(1)の有標(1)が指の標(2)が指の標(3)が指の標(3)が指別の標(4)の果目 マストの表質は予算のでは、では、予算は一番では、では、では、では、予算を出金が表の。 は、では、では、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、予算を出金が表の。 は、では、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算を記念が表の。 は、では、予算とは、予算とは、予算とは、予算とは、予算とは、予算とは、予算とは、予算と	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結集 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回数 R6年度 目標値  款	位基本事業の Table B	単位   回   回
	万全な災害対策や 結果(上位基本事) には、上位をは、大きなののでは、大きなののでは、大きなののでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなは、大きなは、大きないでは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きなは、大きな	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 0	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年標値 数	位基本事業の Table B	単位   回   回
	万全な災害対策や ・ 大きな災害対策を ・ 大きな災害が悪い。 ・ 大きながまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいますながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまするながらいまする。 ・ 大きながらいまする。 ・ 大きながらいまながらながらいまながらいまながらいまながらいまながらいまながらいまなが	応急文 <b>業の</b> 意 る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 1,098	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 0 0 0 1, 065	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年度 目標値 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	位基本事業の 位基本事業の R7年度 目標値 7頁 01 R7年度 目標値	単位   回   回     単位   回
	万全な災害対策や ・ 大きな災害 (上)	応急文 <b>業の意</b> る <b>4標の</b> ① ② ① ② ① ② ① ② ②	transfer in the second secon	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 1,098 2,847.2	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 0 0 0 0 1, 065 2, 813	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回数 R6年度 目標値 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	位基本事業の 位基本事業の 下記数	単位   回   回     単位   回
	万全な災害対策や対象を対している。 第一条 は (1)動(2) (4) 成の果目	応急文 <b>業の意</b> (事の) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 1,098 2,847.2 188 × 4	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564 190 × 5	R4年度 実績値 1 61, 218 46 R4年度 実績値 1, 065 0 0 0 1, 065 2, 813 150 × 5	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上 名和 メール配信回 R6年標値 款 09 R6年標値 000000000000000000000000000000000000	位基本事業の では R7年度 目標値 「101 R7年度 目標値 「101	単位   単位   回     単位   回     単位   回     目位   回     目標値     回     目標値   回     回     目標値   回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回   回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回   回     回     回     回     回     回     回     回     回     回     回       回
	万全な災害対策や対象を対している。 本書 (上) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	応急文 <b>業の意</b> (事の) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7		型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 0 1,098 2,847.2 188 × 4 125	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564 190 × 5 125	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 0 0 1, 065 2, 813 150 × 5 98	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年度 目標値 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	位基本事業の 位基本事業の R7年度 目標値 第101 R7年度 目標値 の ()	単位   回   回
	万全な災害対策や対象を対している。 第一条 は (1)動(2) (4) 成の果目	応急文 <b>業の意</b> (事の) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 0 1,098 2,847.2 188 × 4 125 415	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564 190 × 5 125 412	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 2, 813 150 × 5 98 808	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上 名和 メール配信回 R6年標値 款 09 R6年標値 000000000000000000000000000000000000	位基本事業の 位基本事業の R7年度 目標値 第101 R7年度 目標値 の ()	単位   単位   回     単位   回     単位   回
	万全な災害対策や対象を表す。  「大きな災害を持ち、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	応急文 <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b> <b>で</b>	Transfer in the second secon	型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 0 1,098 2,847.2 188 × 4 125	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564 190 × 5 125 412	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 0 0 1, 065 2, 813 150 × 5 98	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年度 目標値 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	位基本事業の では R7年度 目標値 「101 R7年度 目標値 「101	単位   回   回
	万全な災害 (上) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	応急文 <b>*</b> の 意 <b>*</b> ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		型立される  見込及び目標 R3年度 実績値 1 61,236 1 32 01 一般会計 R3年度 実績値 1,098 0 0 0 0 1,098 2,847.2 188 × 4 125 415	票 R4年度 計画值 1 61, 218 1 35 H R4年度 計画值 1, 250 0 0 0 0 1, 250 3, 564 190 × 5 125	R4年度 実績値 1 61, 218 1 46 R4年度 実績値 1, 065 2, 813 150 × 5 98 808	1) 地址 2) (4) 結射 1) 防2 2) R5全 計画	域	名利 計画修正回数 果指標(上・名称 メール配信回 R6年度 目標値 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	位基本事業の 位基本事業の R7年度 目標値 「101 R7年度 目標値 「101 「1	単位   単位   回     単位   回     単位   回

事務事業名 No. 防災計画策定見直し事業 この事業の中心となる地域防災計画は市の防災の根幹となる この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 評 計画であるため、この事業は必要である。 理由 いませんか。十分な成果が 価 得られていますか? □ 得られていない С 災害対策は市民に直結する内容のため、環境の変化によって見直す必 事業進展等による環境変化 Н □ ある 要はない。 に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ē 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? Κ 災害対策は市民に直結する内容のため、環境の変化によって見直す必 事業進展等による環境変化 □ ある 要はない。 に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 地域防災計画の修正回数が多くなると煩雑となるため、現状況が妥当である。 今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ 内 容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? <u>目的は達成している。</u> 効性 目的達成状況 内 容 □民間への一部委託 口民間への全部委託 市関与の必要性 口指定管理 口補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 市の計画策定業務(修正含む)のため、市職員が実施することがふさわしい。 統廃合によって効率化を図ることはできない。 事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 削減する方法はない。 率性 現状より事業費・人件費を (地域防災計画の修正業務を外部委託にすると事業費が大幅に増加する) 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内 容 できないか?) 直接的な受益者はなし □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 公平 □ 検討が必要 また、受益者負担割合は適 □ ない 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 職員の防災への意識が低い。 図上訓練等の訓練を行い、職員一人 事業実施上の課題、住 ひとりの防災への意識を高める。 革 民・議会等からの意見 対応策 意見 改 と対応策 善 案 防災会議を開催した。 なし R5年度の事業計画は前 変更 年度から変更・追加は 前年度 あるか 追加 C T 今後の事業・コスト・成果の方向性 今後の事業の方向性、改革・改善案 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 県の地域防災計画の見直しにあわせ、必要に応じてみ П Ν よし市地域防災計画を修正する。 改善 原子力災害対策については、市町村の対応計画の雛形 を県に作成するよう求めている。 有事の際に職員が対応できるよう、図上訓練等を通じ 現状維持 縮小 統合 て、随時見直しを図っていく。 完了 廃止・休止 災害対策については市民のニーズが多様化しているた め、計画等に盛り込むことが必要。 令和 5 (2023) 年度から「防災訓練開催運営事業(防災 コストの方向性 維持 成果の方向性 力強化・維持事業)」と統合する。

維持

様式1-1 記入日 令和05年12月07日

	事務事業名	No.	83	防災情報	発信事業			記八日	•	034127071
多	この事務事業	政策			心して暮らせ					
	の位置	施策			<u>え合い、災</u>	<u>害に強いま</u>	<u>ちをつくろ・</u>	<u> </u>		
	主管課名	<u>季年</u> 防災	<u>事業</u> 经安全課	<u>    防災・減</u> !	.火	課長名	池野 雅	·		
)	この事務事業の開				(2009)年	事務区分		受託事務	■ 自治事務	ξ
	この事務事業の根	拠法	令	特になし						
٦	事業の概要					現在の状	況とこの事	務事業を行う	根拠または理	<b>里由</b>
>	市が発信する災							いる南海トラ		
-	登録型のメール	配信:	システム	▲を導入し、 ?	災害時には市			リラ豪雨など		
ì	民の携帯電話に近年の突発的な						高まつくお がある。	り、市民に対	して防災情報	なぞ1目9
5	市内5箇所に雨							は防災に限ら	ず自治体とし	ての青務
ì	いる。	<b>-</b> H   V	. 0 🖪 //	11-1241-112422	ii cke o c	である		10/9/5/1-12/5	) H/H/T-C-C	200
)	市民自らが災害									
)	、インターネッ			こび風向・風	速の情報を閲					
	覧できるように SDGsの取り			1 12 17						
I	SDG SOOR OF	祖の	. 10, 1		速計による測	   定状況の講	評及び機器の	の管理保守を行	<u></u> 行った。	
	R4年度に実施した	:具体	的な		難場所等に看				1, 2,00	
	事業の方法、手順									
	る成果等									
-	<b>車                                    </b>	£ / JJ	:口(十)四	土とせぐ亦ん	ルーナいてム		(1) 洋新七根	■ / 車 孜 声 类 /	の活動星をま	[才比海)
ŀ	事務事業を取り巻			!去と比へ変1 、継続して実		•	いかりの	票(事務事業( 名称		▼9 指標) 単位
		۷۰.۷	. u · /_ w)	、心心にして天	こか Li	1	1) 雨量計・			<u>早</u> 业 台
	変 化 内 容						2			
	M 各									
ŀ	116 (				,		(a)     #   -			a (m.)
	対象(この事業の	対象、	、範囲の	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大	=	
	市民								1	単位
						(	1) 人口 2)			<u> </u>
ł	目的(この事業によ	って	上記分名	またどのトうな	・壮能にしたい			悪(目的の達)	式度を示す地	○ 1種)
ı	防災や災害に関す					_		名称		単位
	別火 ピ火吉に関す	<b>な) 1日</b> :		こになる。かっ	= # T					
			TK C 11.2	VI = IM/CV 3CI			1) メール耐		·	
	を迅速に入手でき		TK C 11-2	- III / C ( ) ( )		(	① メール配 ②	记信登録者数 2信登録者数		人
I		る。				(	2			
	を迅速に入手でき	る。 <b>業の</b> だ	意図)			(	2) (4) 結果の成 	記信登録者数	位基本事業 <i>の</i>	
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事	る。 <b>業の</b> だ	意図)			(	2) (4) <b>結果の</b> 成 1) 防災情報	記信登録者数 成果指標(上位	位基本事業 <i>の</i>	D成果指標)
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被	る。 <b>業の</b> 災者の	<b>意図</b> ) の発生を	を防ぐ。		(	2) (4) 結果の成 	記信登録者数	位基本事業 <i>の</i>	人       D成果指標)       単位
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指	る。 <b>業の</b> 災者の <b>に標の</b>	意図) の発生を の実績と	を防ぐ。 <b>見込及び</b> 目4	票	(	2 (4) 結果の成 1) 防災情報 2)	信登録者数 <b>戊果指標(上</b> 作 名称 はメール配信数	位基本事業 <i>0</i> .	人 D成果指標) 単位 回
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被	る。 <b>業の</b> 災者の <b>に標の</b>	<b>意図</b> ) の発生を	を防ぐ。		(	2) (4) <b>結果の</b> 成 1) 防災情報	記信登録者数	位基本事業 <i>の</i>	人       )成果指標)       単位
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 〜 年度 (1)の	る。 業の 災者 (	意図) の発生を の実績と	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度	票 R4年度 計画値	( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	2 (4) 結果の成 1) 防災情報 2 R5年度 計画値	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値	位基本事業 <i>の</i> 数 R7年度	人 D成果指標) 単位 回 R8年度
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標	る。 <b>業の</b> 災者の <b>は標の</b> <u>1</u> 2	意図) の発生を シ実績と 単位 日	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8	票 R4年度 計画値 8	R4年度 実績値 8	2 (4) 結果の 1 ) 防災情報 2 R5年度 計画値	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 1	位基本事業 <i>の</i> 数 R7年度 目標値 1	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の	る。 <b>業の</b> 災者の <b>信標の</b> ① ② ①	意図) の発生を )実績と 単位	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値	票 R4年度 計画値 8	R4年度 実績値	2 (4) 結果の 1 ) 防災情報 2 R5年度 計画値	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 1	位基本事業 <i>の</i> 数 R7年度 目標値 1	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	る。 <b>業の</b> 災者の <b>は標の</b> <b>1</b> <b>2</b> <b>1</b> <b>2</b>	意図)の発生をションの発生を対しています。	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236	票 R4年度 計画値 8 61,218	R4年度 実績値 8 61,218	2) (4)結果の成 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,378	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 なメール配信数 R6年度 目標値 3 1	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62, 219
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の	る。 <b>業の</b> 災者の (で) (1) (2) (1) (2) (2) (2)	意図) の発生を シ実績と 単位 日	を防ぐ。 見込及び目 R3年度 実績値 8 61,236 3,051	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250	R4年度 実績値 8	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62,219
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事 災害時における被 事務事業の各種指 指標 へ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	る。 <b>業の</b> 災者 ( 1 2 1 2 1 2 1 2	意図)の発生をションの発生を対しています。	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236	票 R4年度 計画値 8 61,218	R4年度 実績値 8 61,218	20 (4) 結果の成 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62, 219
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事業 災害時における被 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果結果の 成果結果標	る。 <b>業の</b> が 災者( ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 2) ( 2	意図) の発生を シ実績と 人 人 回	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450	記信登録者数 <b>花果指標(上1</b> 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656 0 3,650	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62, 219 4, 050
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事業の各種指 災害時における被 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の結果の 成果結果の 成果結標 予算書	る。 <b>業の</b> が 災者( ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 2) ( 2	意図)の発生を対している。   文字稿と   ()   ()   ()   ()   ()   ()   ()   (	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250 35	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450	提信登録者数 <b>支果指標(上1</b> 名称 メール配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 0 3,650 款 09	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35	人 <b>)成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62,219 4,050 35
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事業 災害時における被 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果結果の 成果結果標	る。 <b>業の</b> が 災者( ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 1) ( 2) ( 2) ( 2	意図) の発生を シ実績と 人 人 回	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言 R3年度	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250 35	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46	2 (4) 結果の 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450 38	提信登録者数 <b>支果指標(上1</b> 名称 メール配信数 R6年度 目標値 3 1 61,656 3,650 款 09 R6年度	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回  R8年度 目標値 1 62, 219 4, 050 35  目 04 R8年度
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事業の各種指 指標 へ 年度 (1)の 活動の標 (2)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (5)の標 (6)の標 (7)の標 (7)の標 (8)の標 (9)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (2)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の結果の (4)の結果標 (5)の表指果の (5)の表指果の (6)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指果の (7)の表指 (7)の表指果の (7)の表指 (7)の表指果の (7)の表指 (7)の表指 (7)の表指 (7)の表指 (7)の表 (7)	る。 <b>業の</b> が 災者( 1) (1) (2) (2) (1) (2) (2)	意図とする。実位台人回計度位	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250 35	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450	提信登録者数 <b>支果指標(上1</b> 名称 メール配信数 R6年度 目標値 3 1 61,656 0 3,650 京 35 款 09 R6年度 目標値	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値	人 <b>)成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 1 62, 219 4, 050 35 目 04 R8年度 目標値
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事: 災害時における被 事務事業の各種指 指標 (1)の (1)が指標 (2)の標 (3)の標 (3)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (4)の標 (4)の標 (5)の標 (6)の標 (7)の標 (7)の標 (8)の標 (9)の標 (9)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (1)の標 (2)の標 (3)の標 (4)の結果の (4)の無指標 (5)のに表す。 (5)のに表す。 (6)のに表す。 (7)のに表す。 (7)のに表す。 (8)のに表す。 (8)のに表す。 (9)のに表す。 (9)のに表す。 (1)のに表す。 (1)のに表す。 (1)のに表す。 (2)のに表す。 (3)のに表す。 (4)のに表す。 (5)のに表す。 (5)のに表す。 (6)のに表す。 (7)のに表す。	る。 <b>業の</b> が 災者( 1) (1) (2) (2) (1) (2) (2)	意図)実位台人回計度位円	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6,642 0	票 R4年度 計画值 8 61,218 3,250 35 十 R4年度 計画值 4,301 0	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450 38 R5年度 計画値 19,740	提信登録者数 <b>支果指標(上1</b> 名称 メール配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 3,650 3,650 款 09 R6年度 目標値 50,588 0	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0	人 <b>)成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 4,050 4,050 35 目 04 R8年度 目標値 15,687 0
	を迅速に入手でき 結果(上位基本事業の各種指 指標の各種指 指標の標(1)の指の標(2)な指の標(3)な指果の 対(3)な指果標の 対の規度の標のででは、 (4)の標のででは、 (4)の標のでででは、 (4)の標のでででは、 (4)の標のでででできます。 (4)の標のでででできます。 (4)の標のででできます。 (5) 第2は予算額のでできます。 (4) は、 (4) は、 (5) 第2は予算額のできませまます。 (5) 第2は予算額のできませまます。 (6) 第2 は、 (7) 第2 は、 (8) 第2 は、 (9) 第	る。 <b>業の</b> が 災者( 1) (1) (2) (2) (1) (2) (2)	意図 実位 台 人 回 計 度 位円円	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6,642 0	標 R4年度 計画值 8 61, 218 3, 250 35 + R4年度 計画值 4, 301 0	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0	2 (4) 結果の 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450 38 R5年度 計画値 19,740	は果指標(上1 名称 は果指標(上1 名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 5 50,588 0 0	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0	人   単位   回   R8年度   目標値   1
	を迅速に入手できる 結果(上位基本事業の各種指 指書の各種指 指標の各種指 (1動指の指の標の 対(3) 第指表 (4) の果目 コース (4) の果目 コース (4) の果目 コース (4) の果目 コース (5) 第 (5)	る。 <b>業の</b> が 災者( 1) (1) (2) (2) (1) (2) (2)	意の実施を対し、大田の一般を対している。	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6,642 0 0	標 R4年度 計画值 8 61, 218 3, 250 35 + R4年度 計画值 4, 301 0 0	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 3, 450 3, 450 19, 740 (0	提信登録者数 <b>大果指標(上1</b> 名称 ストル配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 5 0,588 0 0 0	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0	人 <b>D成果指標)</b> 単位 回 R8年度 目標値 4,050 35 目 04 R8年度 目標値 15,687 0 0
	を迅速に入手を迅速に入手を迅速に入手を出まれる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る。 <b>業の</b> が 災者( 1) (1) (2) (2) (1) (2) (2)	意のの実施を対しています。 とり はいま	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61,236 3,051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6,642 0 0 0	標 R4年度 計画值 8 61, 218 3, 250 35 + R4年度 計画值 4, 301 0 0	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0	20 (4) 結果の月 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375 3,450 35 R5年度 計画値 19,740 (()	提信登録者数 大果指標(上1 名称 メール配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 50,588 00000000000000000000000000000000000	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0 0 1,000	人   単位   回   R8年度   目標値   1   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   0   1, 000
	を迅速に入手を迅速に入手を迅速に入手を迅速に入ります。	る。 <b>業の</b> 災者( ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意の実施を対し、大田の一般を対している。	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6, 642 0 0 0 0 0 6, 642 1, 558. 5	際 R4年度 計画值 8 61, 218 3, 250 35 + R4年度 計画值 4, 301 0 0 0 4, 301 1, 914. 5	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0 0 0 3, 777 1, 506. 5	20 (4) 結果の月 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375 3,450 35 19,740 ((() () (1,000 18,740 36,513.9	は果指標(上作名称 は果指標(上作名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 5 0,588 0 0 0 0 0 1,000 49,588 3,933.9	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0 0 1,000 15,400	人   単位   回   R8年度   目標値   1   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   0   1, 000   14, 687   3, 933. 9
	を迅速に入手できる。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る。 <b>業の</b> デス者 (では、) (では ) (では )	意の実施を対している。 「は、おおおりますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6, 642 0 0 0 0 0 0 6, 642 1, 558. 5 132 × 3	際 R4年度 計画値 8 61, 218 3, 250 35 + R4年度 計画値 4, 301 0 0 0 4, 301 1, 914. 5 124 × 4	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0 0 0 3, 777 1, 506. 5 132 × 3	20 (4) 結果の月 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375 3,450 35 19,740 (0 11,000 18,740 36,513.9 1,117×9	提信登録者数 大果指標(上作名称 大果指標(上作名称 大学の一が配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 50,588 000 000 000 1,000 49,588 3,933.9 000 117 × 9	位基本事業の	人   単位   回   R8年度   目標値   1   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   0   14, 687   3, 933. 9   117 × 9
	を迅速に入りを出する。	る。 <b>業の</b> デス者 (でする)	意の実施を対している。 「は、おおおりますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6, 642 0 0 0 0 0 6, 642 1, 558. 5 132 × 3 125	際 R4年度 計画值 8 61,218 3,250 35 + R4年度 計画值 4,301 0 0 0 4,301 1,914.5 124 × 4 119	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0 0 0 3, 777 1, 506. 5 132 × 3	2 (4) 結果の月 1) 防災情報 2 R5年度 計画値 61,375 3,450 35 19,740 (0 19,740 (0 18,740 36,513.9 1,117×9 122	は果指標(上作名称 は果指標(上作名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 5 0,588 0 0 0 0 0 1,000 49,588 3,933.9 0 117 × 9 122	位基本事業の R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0 0 1,000 15,400 3,933.9 117×9 122	人   単位   回   R8年度   目標値   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   0   14, 687   3, 933. 9   117 × 9   122
	を迅速に入るを ・ は と は と は を を を で で で で で で で で で で で で で で で で	る。 <b>業の</b> 清標の 10 10 20 10 20 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	意の実施を対している。  「大きない」では、  「おいますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6, 642 0 0 0 0 0 6, 642 1, 558. 5 132 × 3 125 145	際 R4年度 計画値 8 61,218 3,250 35 + R4年度 計画値 4,301 0 0 0 4,301 1,914.5 124 × 4 119 142	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0 0 0 3, 777 1, 506. 5 132 × 3 73 283	20 (4) 結果の月 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375 3,450 38 19,740 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	程信登録者数 大果指標(上作名称 大果指標(上作名称 大一ル配信数 R6年度 目標値 3 1 5 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 50,588 0 0 0 0 0 0 1,000 49,588 3,933.9 117×9 122 101	位基本事業の 1 R7年度 目標値 1 61,938 3,850 35 項 01 R7年度 目標値 16,400 0 0 1,000 15,400 3,933.9 117×9 122 101	人   単位   回   R8年度   目標値   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   1, 000   14, 687   3, 933. 9   117 × 9   122   101
	を迅速に入りを出する。	る。 <b>業の</b> 清標の 10 10 20 10 20 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	意の実施を対している。 「は、おおおりますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	を防ぐ。 <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 8 61, 236 3, 051 32 01 一般会言 R3年度 実績値 6, 642 0 0 0 0 0 6, 642 1, 558. 5 132 × 3 125	際 R4年度 計画値 8 61,218 3,250 35 + R4年度 計画値 4,301 0 0 0 4,301 1,914.5 124 × 4 119 142	R4年度 実績値 8 61, 218 3, 107 46 R4年度 実績値 3, 777 0 0 0 0 3, 777 1, 506. 5 132 × 3	20 (4) 結果の月 1) 防災情報 2) R5年度 計画値 61,375 3,450 35 11,117 × 9 122 10	は果指標(上作名称 は果指標(上作名称 はメール配信数 R6年度 目標値 3 1 6 61,656 0 3,650 5 35 款 09 R6年度 目標値 50,588 0 0 0 0 1,000 49,588 3,933.9 117 × 9 122 101 54,622.9	位基本事業の	人   単位   回   R8年度   目標値   62, 219   4, 050   35   目   04   R8年度   目標値   15, 687   0   0   14, 687   3, 933. 9   117 × 9   122   101   19, 721. 9

様式1-2 事務事業名 No. 83 防災情報発信事業 大規模地震の発生、また近年増加している風水害など、自然 この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 災害に対しての発信をすることにより、市民に少しでも安全 評 理由 いませんか。十分な成果が 価 安心を与えるため、この事業は必要である。 得られていますか? □ 得られていない С 市民への情報発信は防災に限らず市としての責務であり、環境の変化 事業進展等による環境変化 Н □ ある によって対象を見直す必要はない に伴い、対象を見直す(拡 E その理由 大・縮小) 必要はありませ ■ ない んか? Κ 市民への情報発信は防災に限らず市としての責務であり、事業の目的 事業進展等による環境変化 □ ある は不変的なものである。 に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 発信ツールを増やす方法もあるが、もっと市民にメール配信の登録をしていた 今以上に事業の成果を向上 だけるようホームページなどを通じ広報をする。 させる方法を記入して下さ 内容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 効性 目的は達成している。 目的達成状況 内容 口民間への全部委託 □民間への一部委託 市関与の必要性 口指定管理 口補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 情報発信は市の責務であり、市職員が実施することがふさわしい。 他事業と統合することにより、本事業の成果が十分に得られなくなる恐れがあ るため、単独事業として実施することが相応しい。 事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 市民へのより迅速でより正確な情報発信を促進させていくことを考えると、事 現状より事業費・人件費を 業費や人件費の削減は困難である。 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内 容 できないか?) 直接的な受益者はなし □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 公平 また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 防災情報メールについては、関心は 防災情報メールをPRする。 事業実施上の課題、住 あるものの、登録者数については伸 革 民・議会等からの意見 対応策 意見 び悩んでいる。 改 と対応策 善 案 防災メールの機能強化を行い、配信 情報発信ツールの維持管理を行う。 変更 R5年度の事業計画は前 内容、配信対象者を拡大した。 福田ポンプ場の雨量計以外の雨量計 前年度 年度から変更・追加は 風向計を撤去する。 あるか 追 加 C T 今後の事業・コスト・成果の方向性 今後の事業の方向性、改革・改善案 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 災害時における情報伝達手段の多重化を図るためにも Ν 、より多くの市民に登録をしていただけるよう働きかける。 改善 現状維持 縮小 統合 完了 廃止・休止 コストの方向性

増加

増加

成果の方向性

様式1-1 令和05年06月06日 記入日 事務事業名 No. <u>非常用設備保守点検事業</u> 1 事 政策 安全で安心して暮らせるまち この事務事業 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 務 施策 の位置 基本事業 防災安全課 防災・減災 業 主管課名 課長名 池野 雅樹 この事務事業の開始時期 മ 昭和58 (1983) 年頃 事務区分 ■ 自治事務 □法定受託事務 現 特になし この事務事業の根拠法令 状 事業の概要 現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 災害時に備え、非常用井戸の点検や水質検査等の維持 災害時に備え、水の確保を行う必要があるため。 Р 管理を行う SDGsの取り組み:11、16 Α Ν 及 Ü D 0 災害時用非常用井戸の点検及び整備、水質検査を行った。 R4年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等 事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか (1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 対象に変化がないため、継続して実施 名称 単位 非常用井戸の整備回数 回 変化 非常用井戸の水質検査回数 回 内容 対象(この事業の対象、範囲となる人、物) (2) 対象指標(対象の大きさを表す指標) 非常用井戸 単位 名称 非常用井戸整備箇所数 (1) 箇所 目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) (3) 成果指標(目的の達成度を示す指標) 単位 非常時の水が確保できる 名称 (1) 非常用井戸修繕箇所数 箇所 (2) (4) 結果の成果指標 (上位基本事業の成果指標) 結果(上位基本事業の意図) 災害等から住民を守る <u>名称</u> 単位 (1) 非常用井戸使用可能数 <u>箇所</u> 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標 R3年度 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 指標 \ 年度 単位 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 (1)の 回 2 <u>(1)</u> 2 2 (1) (2) <u>活動指標</u> 回 (2)の 箇所 17 17 17 対象指標 <u>(1)</u> 箇所 1 0 (3) D 成果指標 2 (4)の結果の **(** 箇所 17 17 16 <u>成果指標</u> 予算費目 款「 目 01 一般会計 09 項 01 04 <u>会計</u> R3年度 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 年度 コスト 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 事業費(決算又は予算額) A 単位 1.403 1.455 683 0 0 千円 0 0 0 0 国庫支出金 0 0 0 県支出金 地方債 千円 0 0 0 0 0 0 0 源 千円 0 0 0 0 0 0 0 内 <u>千円</u> その他 0 0 0 0 0 0 訳 一般財源 千円 403 1, 455 683 0 0 0 0 件費B 丰円 724. 4 1, 670. 2 0 1, 655, 5 0 0 0 正職員従事時間×人数 時間×人 59 × 54 × 60 × 6 0 × 0 0 × 0 0 × 0 0 × 0 6 正職員以外の人件費 千円 374 356 367 0 0 0 0 千円 その他の費用C 62 61 60 0 0 0 0 2, 413. 2 0 3, 120. 5 3, 240. 4 0 0 0 <u>トータルコストA+B</u>+C 千円 単位あたりコスト (1) (トータルコスト/(2)の対象指標) ② 183.6 190.6 142 0 0 0 0 千円/ 0 0 0 0 0 様式1-2 \_\_\_\_\_事務事業名\_\_\_No.\_\_ 84 非常用設備保守点検事業

2評価		この事業の必要性は薄れて いませんか。十分な成果が 得られていますか?	■ 得られ ■ 得られ	いている いていない	理由	非常時の	ため、	この事	業は必要である。
CIECK	的妥当	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	■ ある	その理由					いないが、現存している井戸に何かあ を考える必要がある。
	性	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	<ul><li>□ ある</li><li>■ ない</li></ul>	その理由	災害時に	住民を守る	らとい	う目的に	は見直す必要はない。
	有	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容	現状を終	推持してに	ヽくことが゙゙゙゙゙	重要で	ぎある。	
	効性	目的達成状況	内容	この事刻	業の目的は	は達成してし	いる。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	口指定管		口補	助金·	O全部委託 負担金E ことでは	
	効.	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容			充廃合できる か、統廃合に			いが、施策体系の性質上、消防と防災 ない。
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容	現設備る	を維持して	こいくのでも	あれば	<b>【、事業</b> 】	費、人件費の削減は考えられない
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	□ ある □ ない ■ 受益者		現状で適〕 検討が必要		直接	接的な受	益者はなし
3改革改善	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策 年度の事業計画は前	置が		上経過し	び発電機は ている物が		対応策	原則は修繕で対応。 修繕不可の場合は更新する。
A C	年	一人ペケテ不明日の町		開井戸の fった。	点検及び	整備水質検	査	変 更 . 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
TION	今	後の事業・コスト・成果 □ 拡大 □ 改善	の方向性			※今年度が緊急用の	νらの∮ ひも <i>0</i>	具体的な事)である	、改革・改善案 業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ため、計画的に井戸のオーバーホ 交換を行い、現状況を維持してい
		□ 現状 □ 縮小 ■ 統合 □ 完了 □ 廃止	維持・休止			│く。   令和 5 (	2023	)年度よ	交換を行い、現状流を維持してい り「災害対策用品購入事業(災害 理事業)」と統合する。
		ストの方向性 → 維持 B の <b>大</b>							
	八八:	果の方向性 → 維持							

様式1-1 記入日 令和05年12月07日

		No.	<u>85</u>		用品購入事業					
斟	この事務事業	政策		安全で安	心して暮らせ	とるまち				
事 务	の位置	施策		地域で支	え合い、災	害に強いま	ちをつくろう	j		
事	. —	基本	事業	防災・減	災					
			安全調			課長名	池野 雅	樹		
	この事務事業の開				2003)年度	事務区分	♪ □法定	<u> 经託事務</u>	■ 自治事務	<u> </u>
見	この事務事業の根	<u>. 拠法</u>	<u>令</u>	災害対策	基本法					
치	事業の概要					現在の状	況とこの事績	<b>务事業を行う</b>	根拠または理	曲
J	災害発生時を想気	完し か	- 広刍↓	対策資材や災害	主动第田借荽	亩海₩	虚め亩南塩♭	h雲等の大钼	模地震の発生	が合相さ
7	- 火百光工時で芯及 - 品、災害用非常1			が、	口心水川川亩				たみよし市の たみよし市の	
٦	SDGsの取り約			3 17					整備しておく	
ì		шо, .		0, 17		る。		птынке	正洲してのく	20 女 / 0 0 0
						.0°				
及び										
5										
5										
				<b>遊難</b> 考相	定人数7,500	<u></u> 人に達する=	きでの3日分の	)非党食(1) (1)	M食を日煙に	完加λ麸を
	R4年度に実施した	旦休	的な	含め購入			к соло д лл о.	75Fm 及00, 00	の反と口景に	た別ハロで
	事業の方法、手順				.した。 語の資機材を	⇒購入Ⅰ.ナー				
	予采のガム、丁順   る成果等	, j=1	X   _ X	- 机占防災	備蓄倉庫を建		まに 市内に	拡散している	る災害田物資	及び資機材
					を図った。		01-( 1)1111	- 1/4 11 / 0 / 0 / 1	シスロハが貝	
	事務事業を取り巻	· / 4	治1十年			\	(1) 活動性煙	(主	の活動量を表	おお神
							(1/10割指係			
	対象に変化	かな	いため	、継続して実	<b>E</b> 他	L	2 11.24 A ±5	<u>名称</u>		<u>単位</u>
	変 化						1)非常食整			食
	内容					<u>Γ</u>	2 資機材整	1浦品日		種類
	116 (						(A)     #		1. 1. 1. d. de 1 11e	
	対象(この事業の対	付象、	範囲	となる人、物	J)		(2)対象指標	(対象の大	きさを表す指	標)
	避難者想定人数							名称		単位
						(	1) 避難者想			人
						Ī	2)			
	目的(この事業によっ	ってト	記対象	まをどのような	状態にしたい	のか)	(3) 成果指標	(日的の達用		<u></u> :樗)
	災害対策用品を整備					,	(-) //4/(12)	名称		単位
	火吉刈東用吅で笠   	用りて	ا ے ت	こより減火で	শ্ৰ ত	1	1) 非常食充		<b>!</b>	<u> </u>
							2) 資機材充			% %
	結果(上位基本事業	サクミ	字[図]						立基本事業の	
			라즈/				(4)和未の政			
	災害等から住民を	ずる					1 100 ## = 1 0			単位
							① 避難所の	<u> </u>		<u>%</u>
					=		2 非常食整	1佣 釵		食
	士 7万士 34 っ り 15 15	.1# -	<b>-</b>	- 11 - co-						
- 1	事務事業の各種指	標の	実績と							= - :
Ī		T		R3年度	R4年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	指標 \ 年度	単	单位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
	指標 \ 年度	1	<b>単位</b> 食	R3年度 実績値 30,148	R4年度 計画値 30, 244	<u>実績値</u> 30, 250	計画値 30, 244	目標値 30, 244	目標値 30,244	<u>目標値</u> 30, 244
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標	1 2	単位 食 種類	R3年度 実績値 30,148 134	R4年度 計画値 30, 244 134	<u>実績値</u> 30, 250 134	計画値 30, 244 134	目標値 30, 244 134	目標値 30,244 134	目標値 30, 244 134
-	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の	1 2	<b>単位</b> 食	R3年度 実績値 30,148	R4年度 計画値 30, 244	<u>実績値</u> 30, 250	計画値 30, 244 134	目標値 30, 244 134	目標値 30,244 134	
-	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	① ② ① ②	<b>单位</b> 食 種類 人	R3年度 実績値 30,148 134 7,500	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500	実績値 30, 250 134 7, 500	計画値 30, 244 134 7, 500	目標値 30, 244 134 7, 500	目標値 30, 244 134 7, 500	目標値 30, 244 134 7, 500
-	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の	① ② ① ② ①	<b>单位</b> 食 種類 人	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500	<u>実績値</u> 30, 250 134 7, 500	計画値 30, 244 134 7, 500	目標値 30,244 134 7,500	目標値 30, 244 134 7, 500	目標値 30,244 134 7,500
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標	1 2 1 2 2 1 2	单位 食 種類 人 %	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100	実績値 30, 250 134 7, 500 100	計画値 30, 244 134 7, 500 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の		单位 食 種類 人 % %	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100 100	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標		单位 食 種類 人 % %	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 100 30, 244	実績値 30, 250 134 7, 500 100	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244
	指標 \ 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目		单位 食種 人 % % 食計	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 100 30, 244	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04
	指標 〜 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標		单位 食 種類 人 % %	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R4年度	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度	目標値 30, 244 7, 500 100 100 100 30, 244 項 01 R7年度	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度
	指標 〜 年度  (1) の 活動指標 (2) の 対象指標 (3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト		单位 食類 % % 食計 年 度	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値	R4年度 計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 † R4年度 計画値	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値	目標値 30, 244 7, 500 100 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値
	指標 〜 年度 (1) の 活動指標 (2) の 対象指標 (3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 % % 食計 年 単 位	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752	R4年度 計画值 30,244 134 7,500 100 100 30,244 + R4年度 計画值 248,896	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款   09 R6年度 目標値 14, 386	目標値 30, 244 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286
	指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト  事業費(決算又は予算額)  財 国庫支出金	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 %%食計 年 単千	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画値 248,896	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286
	指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)  事業費(決算文は予算額)  財源 地方法	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 %%食計 年 単千千	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画値 248,896 0 24,900	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0	目標値 30, 244 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0
	指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)  事業費(決算文は予算額)  財源内	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 %%%食計 年 単千千千	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画値 248,896 0 24,900 80,000	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 <b>R4年度</b> 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0
	指標 年度 (1) の 活動指標 (2) の標 (3) の標 (4) の標 (4) の標 の果指標 予算費 コスト 事業費(決算又は予算額) 事業 は 国東支出債 地方の他	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 + R4年度 計画値 248,896 0 24,900 80,000 82,509	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 <b>R4年度</b> 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0
	指標 (1) の 活動指標 (2) の標 (2) の標 (3) の標 (4) の標 (4) の果指標 予算 目 コスト 事業費 (決算又は予算額) を 事業費 (決算又は予算額) を 事業力 に表しました。 のという。 を表しまする。 を、ましまする。 と、ましまする。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましまる。 と、ましまる。 と、ましまる。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、ましま。 と、まし。 と、まし。 と、まし。 と、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も	1 (1) (2) (2) (2) (2) (4)	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 7, 130 18, 622	R4年度 計画值 30,244 134 7,500 100 100 30,244 + R4年度 計画值 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 <b>R4年度</b> 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 0 1, 189 8, 954	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 0 1, 189 6, 097
	指標 年度 (1) の 活動 標 (2) の標 (2) の標 (3) の標 (4) の標 (4) の標 (4) の場指 (5) 第 1		位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円円円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 7, 130 18, 622 3, 611. 9	R4年度 計画值 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画值 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487 3,760.1	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 <b>R4年度</b> 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418 4, 330	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081 14, 415 4, 321, 2	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189 13, 197 4, 321, 2	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 0 1, 189 8, 954 4, 321, 2	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 0 1, 189 6, 097 4, 321, 2
	指標 年度 (1) の 活動指標 (2) の標準 (3) の標準 (3) の標準 (4) の標準 (4) の場 指標 予算 目 コスト 事業費(決算又は予算額) 事業費(決算又は予算額) 中間	1 ① ② ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円円人	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 7, 130 18, 622 3, 611. 9 129 × 6	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画値 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487 3,760.1 118 × 7	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418 4, 330 175 × 6	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081 14, 415 4, 321, 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189 13, 197 4, 321, 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 0 1, 189 8, 954 4, 321, 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 1, 189 6, 097 4, 321. 2
	指標 年度 (1) の	1 ① ② ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円円入円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 0 7, 130 18, 622 3, 611. 9 129 × 6	R4年度 計画值 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画值 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487 3,760.1 118 × 7	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418 4, 330 175 × 6 529	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081 14, 415 4, 321, 2 145 × 8 122	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189 13, 197 4, 321, 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 1, 189 8, 954 4, 321. 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 0 1, 189 6, 097 4, 321.2 145 × 8
	指標 年度 (1) の	1 (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円円入円円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 7, 130 18, 622 3, 611. 9 129 × 6 810 415	R4年度 計画値 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画値 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487 3,760.1 118 × 7 770 415	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418 4, 330 175 × 6 529 808	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081 14, 415 4, 321, 2 145 × 8 122 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189 13, 197 4, 321. 2 145 × 8 122 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 0 1, 189 8, 954 4, 321, 2 145 × 8 122	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 1, 189 6, 097 4, 321. 2 145 × 8 122
	指標 (1) の (2) の 標 (2) の 標 (3) の 標 (3) の 標 (4) の 標 (4) の 果 結 果 の 成 果 指 標 (4) の 果 指 標 (5) 東 書 費 (決算 又は 予算額) の 表 は 下 の 般 財 源 内 訳 日 は で の 般 財 源 内 訳 日 は で の 他 の 費 日 と で の 他 の 世 の 代 の 他 の コ スト A + B と で の 他 の コ スト A + B と で の 他 の コ スト A + B と で の 他 の コ スト A + B と で の 他 の コ スト A + B と で の 他 の コ スト A + B と で か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	1 ② ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	位 食類人 %%%食計 度 位円円円円円円入円	R3年度 実績値 30, 148 134 7, 500 100 100 30, 148 01 一般会言 R3年度 実績値 25, 752 0 0 0 7, 130 18, 622 3, 611. 9 129 × 6	R4年度 計画值 30,244 134 7,500 100 100 30,244 † R4年度 計画值 248,896 0 24,900 80,000 82,509 61,487 3,760.1 118 × 7	実績値 30, 250 134 7, 500 100 100 30, 250 R4年度 実績値 205, 850 29, 581 0 58, 000 60, 851 57, 418 4, 330 175 × 6 529	計画値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 R5年度 計画値 15, 496 0 0 1, 081 14, 415 4, 321, 2 145 × 8 122 0	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 款 09 R6年度 目標値 14, 386 0 0 1, 189 13, 197 4, 321, 2 145 × 8	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 項 01 R7年度 目標値 10, 143 0 0 0 1, 189 8, 954 4, 321, 2 145 × 8 122 0 14, 464, 2	目標値 30, 244 134 7, 500 100 100 30, 244 目 04 R8年度 目標値 7, 286 0 0 0 1, 189 6, 097 4, 321.2 145 × 8

様式1-2 事務事業名 No. 災害対策用品購入事業 今後30年以内に70%から80%の確率で大規模地震が起発生す この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 評 るといわれているため、この事業は必要である。 理由 いませんか。十分な成果が 価 得られていますか? □ 得られていない 愛知県などが想定を見直さない限り、見直す必要はない。 事業進展等による環境変化 Н □ ある に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ε 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? Κ 市民の安全安心を守るという大前提があるため、環境変化に伴った目 事業進展等による環境変化 □ ある 的を見直す必要はない。 に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 資機材について、時代のニーズ等があるため、それに沿うように事業を進めて 今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ 内 容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 達成している。 目的達成状況 内容 □民間への全部委託 □民間への一部委託 市関与の必要性 口指定管理 口補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 資機材等の災害対策用備蓄品などの整備は市が進めていくもの。 災害対策については統廃合、効率化を図ることにより、リスクがある可能性が あるため、慎重に事業を進めていくことが大切である。 事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 事業費(備蓄品購入)においては災害想定の見直しや時代のニーズに左右され 現状より事業費・人件費を るところがあり、簡単には削減できない。 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内 容 できないか?) 全ての市民が受益者になり得るため、受益者負担 □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? のない現状で適正である。 また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 必要資機材を整備しても保管する場 防災倉庫、水防倉庫の配置計画を作 事業実施上の課題、住 所がない。 成し、保管場所(倉庫)を確保する 革 民・議会等からの意見 対応策 意見 改 と対応策 案 拠点防災備蓄倉庫の実施設計を作成 拠点防災備蓄倉庫を建設し、備蓄品 R5年度の事業計画は前 の適切な保管を行う。 した。 前年度 年度から変更・追加は あるか 追加 C T 今後の事業の方向性、改革・改善案 今後の事業・コスト・成果の方向性 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 被害想定の見直しにあわせ、非常食などの備蓄数の変 П Ν 更をした。 改善 拠点防災備蓄倉庫の建設に伴い、備蓄品の分散保管と 現状維持 集約保管を併用し、発災時に計画的に備蓄品を支給する体制を整える。さらに、ニーズに合った必要資機材 縮小 統合 完了 の整備を行う必要がある。 廃止・休止 コストの方向性

維持

増加

成果の方向性

様式1-1 記入日 令和05年12月07日

1 📙	事務事業名	No.	86		開催運営事業					
多	この事務事業	政策			心して暮らせ					
劉	の位置	<u>施策</u>			<u>え合い、災</u>	害に強います	ちをつくろう	)		
事_	·		事業	<u>    防災・減</u>	災		NI W7 7//	141		
	主管課名	<u> </u>	安全課		(0001) <del>/-</del>	課長名	池野 雅		= 4、4 = 3	-
	この事務事業の開			平成13		事務区分	} □法定员	<u> </u>	■ 自治事務	<u> </u>
ᄔ	<u>この事務事業の根</u>	拠法	T	<u>    災害対策</u>	<u> </u>	u	·			
^	事業の概要								根拠または理	
٦[	市民の防災意識の								<b>፪災が発生し、</b>	
_	コミュニティ単位				拖する。				源とする大地	震の発生
4	SDGsの取り約	組み	: 11、1	7			されている。			
1									対策や、防災	に対する
文						知識を	普及させる。	必要がある。		
۶										
2										
)										
H				女(刑) - □	ᆂᄨᇖᆣᅪᄶ		プログラ (大)	1.ナ 明 炭 士 フ	L L + 1- 8	たまれて デ L
	R4年度に実施した	日仕	6/17>		ア恩栄症対象 認訓練を実施		での防災訓練	*を用惟りる。	とともに、各	行以区こと
	事業の方法、手順				心訓除と天爪	せした。				
	争未の方法、于順 る成果等	<b>、 1</b> 日	示に列	7						
	でルネサ									
-	 事務事業を取り巻	· 〈 壮	记け過	ナンセベずん	トーアハスか		(1) 活動均煙	(事務重業/	の活動量を表	まお担(
Ľ							(1)/03/11作			
	刈豕1〜发化	'n. ዓ	いいこめ)	、継続して実	: 加	-	1) [/ <del>+</del> <<< =\  (+ ±	<u>名称</u> 名称		<b>単位</b> 団体
	変 化					}	<u>î)防災訓練</u> 2)	に参加した自	土防灭云	四14
-	內 容					1	<u> </u>			
i.	 対象(この事業の対	ける	<b>猝囲</b>	レナンス 1 州加	1)		(2) 計会指揮	(対象の士:	きさを表す指	s+≖ /
		<b>ツ</b> 豕、	. 乳田	こなる人、物	1)		(4) 对象相信		= 1 1 1 11	* * *
	市民							名称	i .	単位
										— 人
						(	2)			
			. ==	+ 18 - 1 - 4	115461-1-1-1-1		$\sim$ $\sim$ $\sim$ $\sim$	/ D 44 6 5 = -	<u> </u>	- 1== \
	目的(この事業によ	って_	上記対象	えをどのような	状態にしたい	のか)	(3)成果指標	(目的の達)	<b>或度を示す指</b>	[標]
	<b>目的(この事業によ</b> が 災害に対しての意					_		名称		i標) 単位
						もらう(	1) 防災訓練	名称		* * *
						もらう (	1) 防災訓練	<b>名称</b> 参加者数	i	単位
		識の高	高揚ま <i>†</i>			もらう (	1) 防災訓練	<b>名称</b> 参加者数		単位
;	災害に対しての意	識の 業 <b>の</b>	高揚また			もらう (	1) 防災訓練	名称 参加者数 果指標(上	位基本事業 <i>σ</i>	単位 人 人 )成果指標)
;	災害に対しての意 結果(上位基本事)	識の 業 <b>の</b>	高揚また			もらう ( ( (	D 防災訓練 2) (4) 結果の成 D 防災訓練	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延 <sup>^</sup>	位基本事業の : : ::	単位
1	災害に対しての意 結果(上位基本事)	識の 業 <b>の</b>	高揚また			もらう ( ( (	D 防災訓練 2) (4) 結果の成 D 防災訓練	名称 参加者数 果指標(上	位基本事業の : : ::	単位 人 )成果指標) 単位
	災害に対しての意 結果(上位基本事)	識の <b>業の</b> つける	高揚ま <i>が</i> 意 <b>図</b> ) る	左、応急対策 <i>を</i>	を身につけて	もらう ( ( (	D 防災訓練 2) (4) 結果の成 D 防災訓練	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延 <sup>^</sup>	位基本事業の : : ::	単位 人 )成果指標) 単位 回
	災害に対しての意 結果(上位基本事) 自助、共助を身にで 事務事業の各種指	識の記 <b>業の</b> 記 つける	高揚ま <i>†</i> 意図) る 実績と	た、応急対策で ・ ・ 見込及び目標	を身につけて	もらう ( ( (	D 防災訓練 2) (4) 結果の成 D 防災訓練 2) 訓練参加	名称 参加者数 果指標(上位 名称 実施数(延べ 者数(安否訓	<b>泣基本事業の</b> は ぶ) 練含む)	単位 人 D成果指標) 単位 回 人
	災害に対しての意 結果(上位基本事) 自助、共助を身に <sup>・</sup>	識の記 <b>業の</b> 記 つける	高揚ま <i>が</i> 意 <b>図</b> ) る	左、応急対策 <i>を</i>	を身につけて	もらう ( ( (	D 防災訓練 2) (4) 結果の成 D 防災訓練	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延 <sup>^</sup>	位基本事業の : : ::	単位 人 )成果指標) 単位 回 人
	災害に対しての意 結果(上位基本事) 自助、共助を身にで 事務事業の各種指	職の清 <b>業の</b> で で で で し で し し し し し し し し し し し し し	高揚ま <i>†</i> 意図) る 実績と	た、応急対策で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を身につけて 票 R4年度	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1) 防災訓練 (4) 結果の成 (b) 防災訓練 (c) 訓練参加 (c) 別様	名称 参加者数 果指標(上位 名称 実施数(延べ 者数(安否訓 R6年度	<b>泣基本事業の</b> は は は は は は は は は は は は は	単位 人 D成果指標) 単位 回 人
	災害に対しての意識 結果(上位基本事業 自助、共助を身にな 事務事業の各種指 指標 、 年度 (1)の 活動指標	識の <b>業の</b> でで でで (標の 1) (2)	高揚また 意図) る 実績と 単位	た、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17	要 R4年度 計画値 25	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1) 防災訓練 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 R5年度 計画値 25	名称 参加者数 果指標(上位 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25	位基本事業の ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値
	災害に対しての意思 結果(上位基本事態 自助、共助を身になる 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の	識の <b>業の</b> つける <b>標の</b> 1 2	高揚また 意図) る 実績と 単位	た、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値	を身につけて 票 R4年度 計画値	もらう で R4年度 実績値	1) 防災訓練 (4) 結果の成 ) 防災訓練 2) 訓練参加 R5年度 計画値	名称 参加者数 果指標(上位 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25	位基本事業の ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 、 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標	識の <b>業の</b> つける <b>で標の</b> ① ②	高揚ま <i>†</i> 意図) る。 実績と 単位 団体	E、応急対策を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61, 236	要 R4年度 計画値 25 61,218	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1) 防災訓練 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 R5年度 計画値 25 61,375	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25	位基本事業の ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の	識の <b>業の</b> つける <b>で標の</b> ① ② ① ②	高揚ま <i>†</i> 意図) る。 実績と 単位 団体	た、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17	要 R4年度 計画値 25	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1) 防災訓練 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 R5年度 計画値 25	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25	位基本事業の ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 年度 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標	職の計 <b>業の</b> 計 で け で し り り り り り り り り り り り り り り り り り り	高揚ま f を	E、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17 61, 236	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (5) 保護 (1) R5年度 計画値 (25) (61, 375) (2, 000)	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25 61,656	位基本事業の (大) (練含む) R7年度 目標値 25 61,938	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62, 219
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の 成果指標 (4)の結果の	<b>業の</b> が <b>標の</b> は 10 20 10 20 10 20 10	高揚ま f を	E、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17 61, 236 0	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) R5年度 計画値 (25) 61, 375 (2, 000) 25	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓) R6年度 目標値 25 61,656 2,000	位基本事業の (大) (練含む) R7年度 目標値 25 61,938 2,000	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62, 219 2, 000
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の標 成果指標の 成果結果の 成果指標	職の評 <b>業の</b> が けっけっ で し し し し し し し し し し し し し し し し し し	高揚ま f l l l l l l l l l l l l l l l l l l	E、応急対策を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17 61, 236 0 17 3, 129	要 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000	もらう ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (5) 保護 (1) R5年度 計画値 (25) (61, 375) (2, 000)	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25 61,656 2,000 25 8,000	位基本事業の (注) (株含む) (株含む) (R7年度 目標値 25 (61,938 (2,000 (25 (8,000)	単位 人 が成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62, 219 2, 000
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の標 (4)の結標 (4)の結果の 成果指標の 万算目	職の評 <b>業の</b> が けっけっ で し し し し し し し し し し し し し し し し し し	高揚まが意る。実位団人人回人計	E、応急対策を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) R5年度 計画値 (25) (61, 375) (2, 000) (25) (8, 000)	名称 参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ 者数(安否訓 R6年度 目標値 25 61,656 2,000 2,000 25 8,000 款 09	位基本事業の (注) (株含む) (株含む) (R7年度 目標値 25 (61,938 2,000 (25 (8,000 (項) 01	単位 人 が成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62, 219 2, 000 2, 000 目 04
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の標 成果指標の 成果結果の 成果指標	職の評 <b>業の</b> が けっけっ で し し し し し し し し し し し し し し し し し し	高揚ま f を	を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計画値 (2) 25 (61, 375 (2, 000) (25 (8, 000) (85年度	名称参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ者数(安否訓) R6年度 目標値 25 61,656 2,000 2,000 25 8,000 款 09 R6年度	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 )成果指標) 単位 回 人 88年度 目標値 25 62, 219 2, 000 2, 000 1 04 R8年度
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の 活動指標 (2)の 対象指標 (3)の標 (4)の結標 (4)の結果の 成果指標の 万算目	<b>業の</b> が <b>標の</b> (標の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2)	高揚また (製)	E、応急対策を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) R5年度 計画値 (25) (61, 375) (2, 000) (25) (8, 000)	名称参加者数 果指標(上1 名称 実施数(安否訓 者数(安否訓 R6年度 目標値 25 61,656 2,000 2,000 25 8,000 款 09 R6年度	位基本事業の (また) (株含む) (株含む) (株含む) (R7年度 (日標値) (25) (81,000) (五) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10	単位 人 が成果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62, 219 2, 000 2, 000 目 04
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業 自助、共助を身にで 事務事業の各種指 指標 (1)の標 (2)の標 (3)が標 (3)が標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 (4)の標 の成果指標 (5)では (4)の標 (4)の標 の成果指標 (5)では (5)では (6)では (7)では (7)では (7)では (8)では (8)では (9)では (9)では (9)では (1)	職の計 標の 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	高揚ま f を	を <b>見込及び目</b> R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0	要 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 R4年度 計画値 1,736 0	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計画値 (25) (61,375) (2,000) (25) (8,000) (75) (84) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	名称参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ者数(安否訓話 R6年度 目標値 25 61,656 2,000 款 09 R6年度 目標値 5,885	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 が成果指標) 単位 回 人 日標値 25 62, 219 2, 000 25 8, 000 目 04 R8年度 目標値 21, 532 0
	災害に対しての意思 結果(上位基本事業) 自助、共助を身にである。 事務事業の各種指 指標(1)の存 (2)な指のででは、10の標では、10の形式をは、10の形式	職の計 標の 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	高     ま       位     0       点<	を <b>見込及び目標</b> <b>R3年度</b> 実績値  17  61,236  0  17  3,129  01 一般会計  R3年度 実績値  1,063  0  0	要 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 R4年度 計画値 1,736 0	もらう (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計練参加 (4) 結果の成 (5) 計画値 (5) 25 (61, 375 (7) 2, 000 (7) 25 (8, 000 (8) 8 (8) 9, 684 (9) 0	名称参加者数 果指標(上1	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 が成果指標) 単位 回 人 88年度 目標値 25 62, 219 2, 000 25 8, 000 目 04 R8年度 目標値 21, 532 0
	災害に対しての意語 結果(上位基本事) 自助、共の各種指 事務事での各種指 指標では、1)指の標では、1)指の標では、1)が指の標では、1)が指の標では、1)が指標では、1)が表現の標では、2)指標では、2)指標では、2)指標では、2)は、3)は、3)は、3)は、3)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4)は、4	職の計 標の 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	高	E、応急対策を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0	要 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 R4年度 計画値 1,736 0	もらう (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計画値 (25) (61,375) (2,000) (25) (8,000) (75) (84) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	名称参加者数 果指標(上1 名称 実施数(延へ者数(安否訓話 R6年度 目標値 25 61,656 2,000 款 09 R6年度 目標値 5,885	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位
	災害に対しての意語 結果(上位基本事) ・ は、	職の計 標の 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	まか   まか   まか   まか   まか   まか   まか   まか	を <b>見込及び目標</b> <b>R3年度</b> 実績値  17  61, 236  0  17  3, 129  01 一般会計  R3年度 実績値  1, 063  0  0  0  0	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0	もらう (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計練参加 (4) 結果の成 (5) 計画値 (5) 25 (61, 375 (7) 2, 000 (7) 25 (8, 000 (7) 884 (7) 9, 684 (7) 0 (7) 0 (	名称参加者数  果指標(上1	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位   人   単位   回   人   単位   回   人   ER8年度   目標値   25   8,000   1 04   R8年度   目標値   21,532   0   0
	災害に対しての意語 ・ は果(上位基本) を ・ は果(上位基本) を ・ は、	職の計 標の 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	is a by displaying d	を <b>見込及び目標</b> <b>R3年度</b> 実績値  17  61, 236  0  17  3, 129  01 一般会計  R3年度 実績値  1, 063  0  0  0  1, 063	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (1) 防災訓練 (2) 訓練参加 (3) 計練参加 (4) 結果の成 (5) 計画値 (7) 25 (8) 000 (8) 25 (8) 000 (8) 400 (9) 684 (9) 683	名称参加者数  果指標(上1	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位
	災害に対しての意語 は果(上位基本) ・ は果(上位基本) ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 で、 は、 は、 で、 は、 は、 で、 は、 で、 は、 で、 で、 で、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 は、 で、	識の <b>業の</b> けっけっ では では では では では では では では では では	ませ   世   日   人   回   人   年   単千千千千千千   世   日   日   日   日   日   日   日   日   日	を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0 0 0 0 1,063 3,208	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735 3,554	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (5) 防災訓練 (6) 防災訓練 (7) 防災訓練 (8) 訓練参加 (8) 記 (8) 記 (8) 記 (9) 684 (9) 684 (9) 684 (9) 683 (4) 259.7	名称参加者数 果指標(上作名称) 実施数(延べ者数(安否訓) R6年度 目標 25 61,656 2,000 次 09 R6年度 目標値 5,885 0 0 0 1 5,884 4,259.7	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 り成果指標) 単位 回 人 88年度 目標値 25 62,219 2,000 104 88年度 目標値 21,532 0 0 0 21,532 4,259.7
	災害に対しての意言  ・ は は まます に 対 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	業の <b>禁</b> の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	まか     は     上	を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0 0 0 0 0 1,063 3,208 200 × 4	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735 3,554 180 × 5	もらう R4年度 実績値 22 61, 218 1, 593 22 2, 841 R4年度 実績値 1, 070 0 0 0 1, 070 2, 952.8 187 × 4	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (5) 防災訓練 (6) 防災訓練 (7) 防災訓練 (8) 訓練参加 (8) 記録 (8) 記録 (8) 記録 (8) 記録 (9) 684 (9) 684 (9) 684 (9) 683 (4) 259.7 (127 × 9	名称参加者数 <ul> <li>果指標(上作名称)</li> <li>実施数(延べ者数(安否訓話</li> <li>R6年度目標値 25</li> <li>61,656</li> <li>2,000</li> <li>25</li> <li>8,000</li> <li>款 09</li> <li>R6年度</li> <li>目標値</li> <li>5,885</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>1</li> <li>5,884</li> <li>4,259.7</li> <li>127 × 9</li> </ul>	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 が果指標) 単位 回 人 R8年度 目標値 25 62,219 2,000 104 R8年度 目標値 21,532 0 0 0 21,532 4,259.7 127 × 9
	災害に対しての意言  ・	業の <b>禁</b> の (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9		を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0 0 0 0 1,063 3,208 200 × 4 312	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735 3,554 180 × 5 296	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (5) 防災訓練 (6) 防災訓練 (7) 防災訓練 (8) 訓練参加 (8) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	名称参加者数 <ul> <li>果指標(上作名称)</li> <li>実施数(延べ者数(安否訓話</li> <li>R6年度目標値</li> <li>25</li> <li>61,656</li> <li>2,000</li> <li>款 09</li> <li>R6年度目標値</li> <li>5,885</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>1</li> <li>5,884</li> <li>4,259.7</li> <li>127 × 9</li> <li>122</li> </ul>	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位 人 が果指標) 単位 回 人 88年度 目標値 25 62,219 2,000 104 88年度 目標値 21,532 0 0 0 21,532 4,259.7 127 × 9 122
	災害に対しての意言  ・	業の <b>禁</b> の <b>は標の</b> <b>1</b> ① ② ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	意る     実位     団     人     回人計 年     単千千千千千間千千       ま     位円円円円円円以下円	を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0 0 0 0 1,063 3,208 200 × 4 312 208	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735 3,554 180 × 5 296 202	もらう R4年度 実績値 22 61, 218 1, 593 22 2, 841 R4年度 実績値 1, 070 0 0 0 1, 070 2, 952.8 187 × 4 245 404	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (5) 防災訓練 (6) 防災訓練 (7) 防災訓練 (8) 訓練参加 (8) 記事 (8) 25 (8) 375 (8) 2, 000 (8) 25 (8) 000 (9) 684 (9) 684 (9) 684 (9) 683 (4) 259.7 (127 × 9 (122) 101	名称参加者数  果指標(上1	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位   人   単位   回   人   単位   回   人   ER8年度   目標値   25   8,000   1 04   R8年度   目標値   21,532   0 0   0 0   21,532   4,259.7   127 × 9   122   101
	災害に対しての意言  ・	業の <b>禁</b> の <b>は標の</b> <b>1</b> ① ② ① ② ① ② ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②		を 見込及び目標 R3年度 実績値 17 61,236 0 17 3,129 01 一般会計 R3年度 実績値 1,063 0 0 0 0 0 1,063 3,208 200 × 4 312	票 R4年度 計画値 25 61,218 2,000 25 8,000 ト R4年度 計画値 1,736 0 0 0 1 1,735 3,554 180 × 5 296	もらう () () () () () () () () () ()	(4) 結果の成 (4) 結果の成 (5) 防災訓練 (6) 防災訓練 (7) 防災訓練 (8) 訓練参加 (8) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	名称参加者数 <ul> <li>果指標(上作名称)</li> <li>実施数(延べ者数(安否訓話</li> <li>R6年度目標値</li> <li>25</li> <li>61,656</li> <li>2,000</li> <li>款 09</li> <li>R6年度目標値</li> <li>5,885</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>1</li> <li>5,884</li> <li>4,259.7</li> <li>127 × 9</li> <li>122</li> </ul>	位基本事業の (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	単位   人   単位   回   人   単位   回   人   88年度   目標値   25   8,000   1 04   R8年度   目標値   21,532   0 0   0 0   21,532   4,259.7   127 × 9   122

様式1-2 事務事業名 No. 防災訓練開催運営事業 住民の意識が高まってきており、成果は得られている。 この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 評 理由 いませんか。十分な成果が 価 得られていますか? □ 得られていない 大規模災害時には自助、共助が最も大切であり、対象を見直す必要は 事業進展等による環境変化 Н □ ある ない。 に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ē 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? 見直す必要はない。 事業進展等による環境変化 □ ある に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない もっと関心を持ってもらえるような訓練の企画ができると良い。 今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ 内 容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 十分達成している。 目的達成状況 内 容 口民間への全部委託 □民間への一部委託 市関与の必要性 口指定管理 口補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 市が主導し、事業を行うべきである 何事においても準備は必要であり、準備=訓練であるので、統廃合するより、 事務事業の統廃合により、 現状の事業を進めた方がよい。 事業の効率化を図り、成果 容 内 を向上させる方法を記入し て下さい。 削減より、増加させるでべきである。 現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内容 できないか?) 全ての市民が受益者になり得るため、直接的な受 □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 益者はなし また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 防災訓練の在り方が問われている。 合同訓練だけでなく、コミュニティ 単位の訓練にも積極的に絡んでいく 事業実施上の課題、住 革 民・議会等からの意見 対応策 意見 改 と対応策 行政区単位で防災訓練として安否確 新型コロナ感染症の状況を見ながら R5年度の事業計画は前 変更 認訓練を実施し、コミュニティ単位 、通常の防災訓練の実施を検討して 年度から変更・追加は 前年度 で新型コロナ感染症対策を講じた防 いく。 あるか 追 加 C 災訓練を実施した T 今後の事業の方向性、改革・改善案 今後の事業・コスト・成果の方向性 0 拡大 地域の防災意識を高めるよう、自主防災会に働きかけ П Ν

#### ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 訓練参加者の増大を図っていく。 改善 また、小学校が避難所となることから、コミュニティ 現状維持 単位で連携しての自主防災訓練を推奨していく。 縮小 統合 また、実災害を想定した避難訓練の開催を検討してい 完了 廃止・休止 コストの方向性 減少 成果の方向性 維持

様式1-1 令和05年06月06日 記入日 <u>防災ボランティアコーディネーター育成事業</u> 安全で安心して暮らせるまち 事務事業名 No. 1 事 政策 この事務事業 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 務 施策 の位置 基本事業 防災安全課 防災・減災 業 池野 雅樹 主管課名 課長名 この事務事業の開始時期 ഗ 平成17(2005)年 事務区分 ■ 自治事務 □法定受託事務 現 災害対策基本法 この事務事業の根拠法令 状 事業の概要 現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 大災害発生時における災害ボランティアの受け入れや 大規模な災害が発生した場合には「みよし市ボランテ Р 被災者とボランティアの調整を行うことのできる「ボ ランティアコーディネーター」を確保するための講座 ィア支援本部」を開設し、全国から駆けつける災害ボ ランティアの受け入れと支援活動を紹介し、被災住民 Α の開催 に対する支援を円滑に行えるようにする必要がある Ν 及 SDGsの取り組み:11、13、17 U D 0 防災ボランティアコ―ディネーター養成講座を開催し、7名の新規登録者を確保す R4年度に実施した具体的な ることが出来た。 事業の方法、手順、指標に対す る成果等 事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか (1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 対象に変化がないため、継続して実施 名称 単位 <u>(1)</u> 養成講座の回数 回 変化 内容 対象(この事業の対象、範囲となる人、物) (2) 対象指標(対象の大きさを表す指標) 単位 市民 名称 (1) 人口 目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) (3) 成果指標(目的の達成度を示す指標) 単位 災害発生時におけるボランティアの受け入れや調整を行うコーデ 名称 ィネーターを確保する (1) <u>-ディ</u>ネ -の必要数 (2) 結果(上位基本事業の意図) (4) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) 単位 自分たちの地域は自分たちで守ってもらう <u>名称</u> 1 ディネーター登録者数 <u>あ</u> 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R3年度 R8年度 単位 指標 \ 年度 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 (1)の 回 0 <u>(1)</u> 1 1 ② ① ② <u>活動指標</u> (2)の 61, 236 61, 218 61, 218 対象指標 <u>(1)</u> 180 180 180 (3) D 成果指標 2 (4)の結果の 1 135 140 137 <u>成果指標</u> 予算費目 款「 会計 01 一般会計 09 01 ĦΙ 04 項| R3年度 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 年度 コスト 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 事業費(決算又は予算額) A 単位 10 24 24 0 0 壬円 0 0 0 国庫支出金 0 0 0 0 県支出金 地方債 千円 0 0 0 0 0 0 0 源 千円 0 0 0 0 0 0 0 内 <u>千円</u> その他 0 0 0 0 0 0 訳 千円 10 24 24 0 0 0 0 一般財源 件費B 丰円 1,003.2 2 0 822 . 2 821 0 0 0 正職員従事時間×人数 時間×人 3 4 3 0 × 0 0 × 0 0 × 0 0 × 0 70 × 65 × 70 × 正職員以外の人件費 千円 62 62 61 0 0 0 0 千円 その他の費用C 62 61 182 0 0 0 0 1, 088. 2 1, 027. 2 0 894. 0 0 0 <u>トータルコストA+B</u>+C 千円 単位あたりコスト ① (トータルコスト/(2)の対象指標) ②

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

千円/人

千円/

(棟:	EL, 1-	<b>-</b> Z							
		事務事業名 No. 87	7 防災	<b>(ボランテ</b>	ィアコーデ	ィネータ	一育	育成事業	_
2評価		この事業の必要性は薄れて いませんか。十分な成果が 得られていますか?	■ 得られ □ 得られ	いている いていない	理由	災害時にこ る。	] —·	-ディネーターは必要なため、事業の必要性は	ŧ
CHECK		事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	<ul><li>□ ある</li><li>■ ない</li></ul>	その理由				るのは市民のため、対象を見直す必要はない。	
	11	事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?	<ul><li>□ ある</li><li>■ ない</li></ul>	その理由	す必要はな		. Ł lā	は、市民への安全安心につながり、目的を見ī	直
	有	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容	必要数Ⅰ	こ近づけるよ	くう広報語	<b>5動</b>	き行う。	
	効性	目的達成状況	内容	達成まっ	であと少して	ぎある。			
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	□指定管 市が講派 ため、	・ 座を実施して 今後社会福祉	□補助 いるが、 L協議会に	助金 本 二講	への全部委託 会・負担金助成 ■市の直営 ぶ来ボランティアは社会福祉協議会の職務であ 標座の開催をお願いしていく。	る
	効	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	内容					-の重要性を広報する場を作る。	
	率性	現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	内容	事業費日	まこれ以上肖	削減できた	よい。	۸.	
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	□ ある ■ ない □ 受益者		現状で適正 検討が必要	内容		5で養成し、市に登録いただき、災害時に活動 こいただくため、受益者負担はそぐわない。	
3改革改善	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策 年度の事業計画は前	見	者が年々	減っている。	0		更なる講座の周知を行う。 対応策	
案 ACT	年あ	度から変更・追加は 前st	∓度 養成の開	は講座及び	ィアコーデ ボランティ・ 実施した。	ア支援本	部	変更は会福祉協議会へ委託して実施する。	る 
I	今	後の事業・コスト・成果	の方向性					その方向性、改革・改善案 の具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内	交
02		□ 拡大 □ 改善 □ 現状 □ 統合 □ 完了 ■ 廃止・				ボ サ サ サ サ サ サ の の の の の の の の の の の の の	イ慣も。はの	ア支援本部の運営については、みよし市の を熟知している地元住民が最適とされるた コーディネーターの養成に努め、人材確保 は、ボランティアの所管である社会福祉協議 開催ができるよう調整していく。 23)年度から廃止。	
		→ 維持							
ĺ	成	果の方向性							

維持

様式1-1 記入日 令和05年06月06日

ı	<u>事務</u>	<u>等業名</u>	No.	88		<u>倒防止対策</u>						
₹	<i>-</i> ω	事務事業				心して暮らせ						
5		デカデネ   )位置	施第			<u>え合い、災</u>	<u>害に強いま</u>	<u>ちき</u>	<u>をつくろう</u>	5		
Ŧ		. —		<u>、事業</u>	防災・減	.災						
₹.		管課名		经全課		(2225) (	課長名		池野 雅			
긲		務事業の関				(2005)年度	事務区			受託事務	■ 自治事務	<u> </u>
₹.		務事業の	<u> 艮拠沒</u>	5 令	特になし	(家具転倒的	方止器具取付			-		
١	事業の	)概要					現在の	犬況	とこの事	<b>務事業を行う</b>	根拠または翌	■由
, [	大規	模な地震の	発生:	が危惧さ	れる中、災害	害時要配慮者	65歳」	<b></b>	の高齢者権	構成世帯、重	度障がい者の	いる世帯
					とる事故を事[						り家具等の固	
	0						行う。	転	倒防止器具	具を防災安全	課が購入し、	取付作業
j	S D	Gsの取り	組み	: 11, 1	3		をシノ	レバ	一人材セン	ンターに委託	している。	
٤												
Ř												
)												
)												
L												
					対象世帯	からの申請に	こより、家具	等	眃倒防止器	器具を4点ま	で無料で設置	じした。
		とに実施した										
		D方法、手顺	貝、指	(標に対	9							
	る成果	<b>是等</b>										
		- Alle - 4		<b>.</b>				,		· /		- 1. U. III.
	事務事				と と比べ変化		<b>N</b>	(1)	活動指標	(事務事業	の活動量を表	をす指標)
ſ		対象に変化	上がな	いため	、継続して実	!施		$oxed{oxed}$		名科		単位
	変化							①	家具等転	倒防止器具籍	所規設置世帯	件
	内容						_	2				
	r,											
ļ												
	対象(	この事業の	対象	、範囲。	となる人、物	1)		(2)	対象指標	(対象の大	きさを表す排	<b>旨標</b> )
ľ	市内災	害時要配慮	者					П		名彩	ī.	単位
								1	災害時要	配慮者世帯		世帯
								2				
	目的(こ	の事業によ	って	上記対象	えをどのような	状態にしたい	へのか)	(3)	成果指標	(目的の達	成度を示す排	<b>旨標</b> )
ı		の被害を軽				<u>-</u>	,	<u> </u>	77471431818	名称		<del>- M</del> 単位
	火口吋	の放って荘	//K C	E 0				1	家旦等転		<u>r</u> 仅付世帯(計)	
								<u>Ž</u>	<u> か                                   </u>	四例工品天气		, , , , , , ,
I	<b> 姓里</b> (	上位基本事	*************************************	音図)					4年の成	里埃煙 ( F	位基本事業の	の成単に種)
				心口/				(+/	加木切以			
	火舌守	から住民を	ন ক				-	1	宏月笙転	<u>名称</u>	<u>▶</u> 実施世帯数(年	<u>単位</u>
							ľ	কা	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	-) <del>1+</del>
	主	業の久廷士	と 煙の	事績と	見込及び目	<b>=</b>						
	中仍手	木ツゴ俚打		大限と		-	DA左击		DE左车	DC左中	D7左虫	DO左曲
	指標	└ 年度	į į	単位	R3年度   実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値		R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値
ŀ		(1)の	(1)	件	<u> </u>	<u>計画地</u> 20	<u> </u>	+	計画値	日保胆	日保胆	日保旭
		動指標	2	<u>  "+</u>	14	20		+				
ŀ		<u> </u>	10	世帯	853	900	760					
	착	象指標	2	_ ···			, 00	$\top$				
t		(3)の	1	件	389	409	394	1				
	成	果指標	2									
ſ	(4)	の結果の	1	件	14	20	į	5				
L		果指標	2	<u> </u>							<u> </u>	
	予算費	目	نط	会計	01 一般会計		D15-	1	DE <del></del>	款 09	項 01	目 04
	コスト			年度	R3年度	R4年度	R4年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ŀ			Λ.		実績値	計画値	実績値	2	<u>計画値</u>	目標値	目標値	目標値
	争未貸し	*算又は予算額 国庫支出3		<u>単位</u> 千円	242 0	314 0	96	_	<u>0</u> 0		-	
	財	<u>国</u> 建文田3 県支出金	17	千円	58	38	38		0			
	源	<u> 宗又山亚</u> 地方債		千円	0	აი 0	(	_	0			
	内	その他		中円	0	0		_	0			
	訳	一般財源		宇苗	184	276		•	0			
t	 人件費			宇苗	704. 2	879. 2	339. 2		0			
		t員従事時間×	人数	時間×人	80 × 2	70 × 3	30 × 2	2	0 × 0		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		職員以外の人		千円	125	119		2	0			
ľ	その他	の費用C		主円	42	41	8	1	0	C	0	(
	トータ	ルコストA+	B+C	千円	988. 2	1, 234. 2	516. 2	_	0			
ſ		たりコスト			1. 2	1. 4	0.	_	0			
	/1 ba-mi	/(2)の対象指標	\(\mathbb{O}\)	千円/	l nl	Λ	(	NI.	۸	1 (	nl n	l (

様	式1	-2									
		事務事業名 No.	8	8	家具	等転倒防	止対策事	業			
2 評価		この事業の必要性は薄 いませんか。十分な成: 得られていますか?		l		ている	理由	れており、	. 阪:	神淡路大	確率で大規模地震が発生されると言れ 震災時には家具等の転倒等が原因の圧 の事業を進めることは必要である。
CHECK	目的妥当性	事業進展等による環境 に伴い、対象を見直す 大・縮小)必要はあり んか?	(拡	ı	ある ない	その理由		直す必要は	はなし	١°	
	ΊΞ	事業進展等による環境 に伴い、目的を見直す 的の追加・拡充又は絞 必要はありませんか?	(目		ある ない	その理由		直す必要は	はなし	<b>\</b> <sub>o</sub>	
	一有	今以上に事業の成果をさせる方法を記入してい。 ※(3)の成果指標を向上さことはできますか?	下さ	内	容	広く広	報活動が行	īð.			
	効性	目的達成状況		内	容	概ね達用	求している	) 。			
		市関与の必要性 (実施手法)		内	容	口指定管			助金	の全部委 ・負担金 務を行っ	助成 口市の直営
	効	事務事業の統廃合によ 事業の効率化を図り、 を向上させる方法を記 て下さい。	成果	内	容	これ以_	上の効率化	とは図れなし	, <b>\</b> <sub>o</sub>		
	効率性	現状より事業費・人件 削減する方法を記入し さい。(仕様の変更、 委託、従事時間の削減 できないか?)	て下 外部	内	容	消耗品類減はでき		後材)と	ンルノ	バー人材	センターへの委託費しかないため、削
	公平性	受益者負担はあります; また、受益者負担割合 正ですか?		•	ある ない 受益者		現状で適፤ 検討が必§			の施策と わない。	して行っているため、受益者負担はそ
3改革改善	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策 毎年度の事業計画は前	意	見		時の家具 まってい		対策への関	心	対応策	更なる啓発を行う。
A	年	年度の事業計画は前 度から変更・追加は るか		年度				より、家具 無料で設置		変 更	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
T I	今	後の事業・コスト・	成果	の方	向性						、改革・改善案
O N		П	拡大					※今年度が 現状維持			「業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容
			改善現状網 紹本	維持				令和5(	2023	3)年度か	ら「防災意識普及啓発事業(自助 」と統合する。

■ 統合 □ 完了 □ 廃止・休止

→ 維持

→ 維持

コストの方向性

成果の方向性

様式1-1 記入日 令和05年12月07日

1	事務事業名	No.	89		普及啓発事業					
<b>事</b>	この事務事業	政策			心して暮らせ					
9	の位置	施策			え合い、災	害に強いまた	らをつくろう	)		
事	主管課名		<u>事業</u> 安全調	<u>  防災・減</u> 	.火	課長名	池野 雅	村		
ה ל	この事務事業の開				(2006)年	事務区分			■ 自治事務	<u> </u>
見	この事務事業の根			特になし						
치	事業の概要					現在の状	況とこの事剤	<b>务事業を行う</b>	根拠または理	曲
٦.	東海地震や東南				る中で、市民				あるため、市	
_	の防災への関心				A #L/// . I				たちの地域は	
۱.	そのため、防災 ダー養成講座を								の防災力を高	
۷ خ	守る意識を高め				の身は日ガで		か、よたてり である。	/忠誠は心い	。そのため更	はる合先
ひじ	毎年度およそ2.0				るため防災	"25	C 05 0 0			
ַכ	マップを増刷す									
וכ	SDGsの取り	組み	: 10、1	1, 17						
				防災マッ	プの増刷を行	<u> </u>				
	R4年度に実施した			洪水ハザ	ードマップァ		を行った。			
	事業の方法、手順	、指	標に対	す						
ı	る成果等									
	事務事業を取り巻	· / 屮	湿け海	まと比べずん	11.アハスか	\	(1) 活動指揮	(重臵重業/	の活動量を表	まお煙)
ŀ				、継続して実				名称		単位
		113.14	.0 -1_0/		ະນຣ	(1	防災マッ		·	部
	変化 内容					2				
	n <del>e</del>									
Н	14/= 0 = ** 0 =	L 1 /2L	//r [III]	14-71 44	- \		(0) +1 <del>4: 11: 1=</del>	/出年の上。	+ + + + + + +	- 1=- /
	対象(この事業の	对家、	. 軋囲	となる人、物	J)		(2) 对家指標		きさを表す指	* * *
	市民					(1	人口	名称	<u> </u>	単位
						(2				
Ī	目的(この事業によ	って_	上記対象	えをどのような	:状態にしたい			(目的の達用		(標)
	避難場所等を把握							名称		単位
						<u> </u>		避難場所数		箇所
H		NI				2	<u> </u>			
	結果(上位基本事業の意図) (4) 結果の成果指標									
								<u>名称</u> プ配布数		<b>単位</b> 部
						<u>(1</u>	2) WXX 7	ᄼᆸᄓᆝᅑ		l db
	事務事業の各種指	標の	実績と	: 見込及び目	 漂					
ľ	 指標 \ 年度	Τ.	——— 单位	R3年度	R4年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
Ļ				実績値	計画値	実績値	計画値	目標値	目標値	目標値
	(1)の 活動指標	1	部	2, 500	2, 000	2, 500	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
ŀ	<u> </u>	1	人	61 006						
	対象指標		_ ^	01. Zani	61, 218	61, 218	61, 375	61, 656	61, 938	62, 219
Ī	<u> </u>	2		61, 236	61, 218	61, 218	61, 375	61, 656	61, 938	62, 219
	(3) Ø	<b>2</b>	箇所	86	61, 218 86	61, 218 87	61, 37 <u>5</u> 86	61, 656 86	,	62, 219 86
-	(3)の 成果指標	② ① ②	箇所	86	86	87	86	86	86	86
ŀ	(3)の <u>成果指標</u> (4)の結果の	② ① ② ①		,	,	ŕ	Ź	ŕ	,	·
	(3)の 成果指標		箇所	86	2, 000	87	1,000	86	86	86
	(3)の <u>成果指標</u> (4)の結果の 成果指標		部計	86 2,000 01 一般会言 R3年度	86 2,000 十 R4年度	87 2,500 R4年度	86 1,000 R5年度	86 1,000 款 09 R6年度	86 1,000 項 01 R7年度	86 1,000 目 04 R8年度
	(3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト		部計年度	2,000 01 一般会計 R3年度 実績値	86 2,000 十 R4年度 計画値	87 2,500 R4年度 実績値	86 1,000 R5年度 計画値	86 1,000 款 09 R6年度 目標値	1,000 項 01 R7年度 目標値	1,000 目 04 R8年度 目標値
	(3)の 成果指標 (4)の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額)	(2) (1) (2) (2) (3)	箇所 部 会計 年度	2,000 01 一般会記 R3年度 実績値 22,844	86 2,000 十 R4年度	87 2,500 R4年度 実績値 8,708	86 1,000 R5年度	86 1,000 款 09 R6年度	86 1,000 項 01 R7年度	86 1,000 目 04 R8年度
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財 国庫支出会	(2) (1) (2) (2) (3)	箇所 部 年 生 単 千 千 千 千	2,000 01 一般会計 R3年度 実績値	86 2,000 十 R4年度 計画值 1,915	87 2,500 R4年度 実績値	86 1,000 R5年度 計画值 8,538 0 45	86 1,000 款   09 R6年度 目標値 2,535 0 49	1,000 項 01 R7年度 目標値 1,369 0	86 1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財 国庫支出会 財 県支出金 地方債	(2) (1) (2) (2) (3)	箇所 部 計 度 位円円円	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0	86 2,000 十 R4年度 計画值 1,915 0 343	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0	86 1,000 <b>R5年度</b> 計画值 8,538 0 45	86 1,000 款 09 R6年度 目標値 2,535 0 49	1,000 項 01 R7年度 目標値 1,369 0 49	1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 国庫支出金 地方債 その他	(2) (1) (2) (2) (3)	箇 部 年 単千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0	86 2,000 十 R4年度 計画値 1,915 0 343 0	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0	86 1,000 R5年度 計画值 8,538 0 45 0	86   1,000	86 1,000 項	86 1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 内記 地方債 一般財源	(2) (1) (2) (2) (3)	箇 部 計 年 単 十 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0 0 14,503	86 2,000 十 R4年度 計画値 1,915 0 343 0 0 1,572	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0 0 6,219	86 1,000 R5年度 計画值 8,538 0 45 0 0 8,493	1,000   款   09   R6年度   目標値   2,535   0   49   0   0   2,486	1,000 項 01 R7年度 目標値 1,369 0 49 0 1,320	86 1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0 0 1,526
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 国庫支出金 地方債 その他	(2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	断 部 東 位円円円円円へ A は 中 単千千千千時間 × 大	2,000 01 一般会記 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0 14,503 3,072.6 156 × 5	86 2,000 十 R4年度 計画値 1,915 0 343 0 0 1,572 3,060.6 156 × 5	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0 0 6,219 2,536.2 132 × 5	R5年度 計画值 8,538 0 45 0 8,493 4,929.4 166×8	1,000   款   09   R6年度   目標値   2,535   0   49   0   2,486   4,929.4   166 × 8	36 1,000 項	86 1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0 1,526 4,929.4 166×8
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 国庫支出金 地方債 一般財源 人件費日 正職員以外の人権	② ① ② ① ② ② A A A	箇 部 年 単千千千千晴千千晴千千時千千年間千	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0 14,503 3,072.6 156×5	86 2,000 十 R4年度 計画値 1,915 0 343 0 0 1,572 3,060.6 156 × 5 237	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0 0 6,219 2,536.2 132 × 5 147	R5年度 計画値 8,538 0 45 0 8,493 4,929.4 166×8 122	1,000   款   09   R6年度   目標値   2,535   0   49   0   2,486   4,929,4   166 × 8   122	1,000 項 01 R7年度 目標値 1,369 0 49 0 1,320 4,929.4 166×8	1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0 1,526 4,929.4 166×8 122
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源原本支出・ 場上、大の他 での他財源 大性費目 正職員以外の人権 その他の費用 C	② ① ② ① ② ② ② ② 】 ② 】 ② 】 ② 】 】 】 】 】 】	断 部 康 位円円円円円×人円円	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0 0 14,503 3,072.6 156 × 5 249 312	86 2,000 十 R4年度 計画值 1,915 0 343 0 0 1,572 3,060.6 156 × 5 237 312	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0 0 6,219 2,536.2 132 × 5 147 606	R5年度 計画值 8,538 0 45 0 4,929.4 166×8 122 0	1,000   款   09   R6年度   目標値   2,535   0   49   0   2,486   4,929.4   166 × 8   122   0	36 1,000 項	86 1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0 1,526 4,929.4 166×8 122
	(3) の 成果指標 (4) の結果の 成果指標 予算費目 コスト 事業費(決算又は予算額) 財源 国庫支出金 地方債 一般財源 人件費日 正職員以外の人権	② ① ② ① ② ② ② ② 】 ② 】 ② 】 】 】 】 】 】 】 】	箇 部 年 単千千千千晴千千晴千千時千千年間千	2,000 01 一般会言 R3年度 実績値 22,844 8,000 341 0 14,503 3,072.6 156×5	86 2,000 十 R4年度 計画値 1,915 0 343 0 0 1,572 3,060.6 156 × 5 237	87 2,500 R4年度 実績値 8,708 2,000 489 0 0 6,219 2,536.2 132 × 5 147	R5年度 計画値 8,538 0 45 0 8,493 4,929.4 166×8 122	1,000   款   09   R6年度   目標値   2,535   0   49   0   2,486   4,929,4   166 × 8   122	1,000 項 01 R7年度 目標値 1,369 0 49 0 1,320 4,929.4 166×8	1,000 目 04 R8年度 目標値 1,575 0 49 0 1,526 4,929.4 166×8 122

成果の方向性

維持

事務事業名 No. 89 防災意識普及啓発事業 防災マップを配布することにより、市民の防災意識の高揚ま この事業の必要性は薄れて ■ 得られている 評 た大規模災害に対する危機感を持ってもらうことができ、十 理 由 いませんか。十分な成果が 価 分な成果が得られていると考える。 得られていますか? □ 得られていない С 市民が対象のため、環境の変化による見直しは必要ない。 事業進展等による環境変化 Н □ ある に伴い、対象を見直す(拡 その理由 Ē 大・縮小) 必要はありませ С ■ ない んか? Κ 環境の変化による見直しは必要ない。 事業進展等による環境変化 □ ある に伴い、目的を見直す(目 その理由 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか? ■ ない 民間で避難所等として使用可能な施設があれば、お声かけをする。 今以上に事業の成果を向上 させる方法を記入して下さ 内容 ※(3)の成果指標を向上させる ことはできますか? 効性 概ね達成している。 目的達成状況 内容 □民間への一部委託 口民間への全部委託 市関与の必要性 口指定管理 □補助金・負担金助成 ■市の直営 容 内 (実施手法) 災害対策における避難所などの特性を考えると市職員が事業を実施することが ふさわしい 他の災害対策事業と統廃合した場合、事業を実施していくうえで煩雑になるお 事務事業の統廃合により、 それがあるため、統廃合は行わない方がよい。 事業の効率化を図り、成果 内 容 を向上させる方法を記入し て下さい。 効 防災マップについては毎年少し加除しているが、加除を2年に1度にすることに 率性 現状より事業費・人件費を より、事業費が若干抑えられる。 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等は 内容 できないか?) 直接的な受益者はなし □ 現状で適正 □ ある 受益者負担はありますか? 公平 また、受益者負担割合は適 □ ない □ 検討が必要 内容 正ですか? ■ 受益者がいない 防災講演会について今以上に参加( 防災講演会の来場者が少ない。 事業実施上の課題、住 マップの改正の時期。 来場) の呼びかけをする。 革 民・議会等からの意見 対応策 県の見直すタイミングで新たなマッ 意見 改 と対応策 プを作成する。 善 洪水、内水ハザードマップ全戸配付 案 マイ・タイムラインガイドブックを R5年度の事業計画は前 変更 を行う。 作成し、全戸配付する。 前年度 年度から変更・追加は あるか 追加 C T 今後の事業の方向性、改革・改善案 今後の事業・コスト・成果の方向性 Ι ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 0 拡大 防災に関心がなく、市の啓発活動にも関心を示さない П Ν 市民に対して防災意識を高める方法を探す必要がある 改善 現状維持 縮小 統合 完了 廃止・休止 コストの方向性 減少

様式1-1 令和05年06月06日 記入日 事務事業名 No. <u>防災行政無線通信施設運営管理事業</u> 1 事 政策 安全で安心して暮らせるまち この事務事業 地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう 務 施策 の位置 基本事業 防災安全課 防災・減災 業 主管課名 課長名 池野 雅樹 この事務事業の開始時期 മ 昭和63(1988)年度 事務区分 □法定受託事務 ■ 自治事務 現 この事務事業の根拠法令 根拠法令なし 状 事業の概要 現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 災害時に住民に対して速やかに災害情報を伝え、安全 災害時に住民に対し、速やかに災害情報を伝え、住民 Р の安全確保を図る。また、移動系無線機により非常配 備班や消防団等の災害応急活動を円滑に行う。 確保を図る必要があるため。 Α SDGsの取り組み:11、13、16、17 Ν 及 ぴ D 0 防災行政無線の維持管理、運用をした。 R4年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等 事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか (1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 対象に変化がないため、継続して実施 名称 単位 1 屋外子局数 箇所 変化 ② 移動局数 局 内容 対象(この事業の対象、範囲となる人、物) (2) 対象指標(対象の大きさを表す指標) 単位 市民 名称 (1) 人口 人 目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) (3) 成果指標(目的の達成度を示す指標) 単位 災害などの市民に有益な情報が正確に速やかに伝えられる 名称 <u>(1)</u> 防災ラジオ販売数(年) <u>台</u> (2) 無線試験回数 結果(上位基本事業の意図) (4) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) 災害などから市民を守る 単位 <u>名称</u> 防災情報メール配信数 回 ② 防災ラジオ販売数 (累計) 台 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R3年度 R8年度 単位 指標 \ 年度 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 (1)の 箇所 56 58 ① 57 2 1 2 <u>活動指標</u> 75 <u>局</u> (2)の <u>人</u> 61, 236 61, 218 61, 218 対象指標 <u>(1)</u> 0 0 0 (3) D 成果指標 2 回 20 18 16 (4)の結果の 1 回 32 35 46 <u>成果指標</u> 2,019 2,019 台 2,019 予算費目 01 一般会計 款 09 項 01 目目 04 <u>会計</u> R3年度 R4年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 年度 コスト 実績値 計画値 実績値 計画値 目標値 目標値 目標値 29. 534 24, 586 事業費(決算又は予算額) A 単位 24, 999 0 0 千円 0 0 0 国庫支出金 0 0 0 0 県支出金 地方債 千円 0 0 0 0 0 0 0 源 千円 0 0 0 0 0 0 0 内 <u>千円</u> 1.000 1.000 その他 857 0 0 0 0 訳 729 千円 28, 534 23, 999 0 0 0 0 一般財源 件費B 丰円 2, 970. 1 , 970. 1 , 131. 1 0 0 0 0 正職員従事時間×人数 時間×人 151 × 5 151 × 5 5 0 × 0 0 × 0 0 × 0 0 × 0 111 x 正職員以外の人件費 千円 237 237 122 0 0 0 0 千円 その他の費用C 249 243 485 0 0 0 0 27, 202. 1 28, 212. 1 0 32, 753. 1 0 0 0 <u>トータルコストA+B</u>+C 千円

0.4

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0.5

0.5

0

単位あたりコスト ① (トータルコスト/(2)の対象指標) ②

千円/人

千円/

様:	式1-	-2							
		事務事業名 No.	90 🕅	<u> 災行政無線</u>	通信施設運	営管理事業	ŧ		
2評価		この事業の必要性は薄れて いませんか。十分な成果が 得られていますか?		られている られていない	災害時に正確な情報を市民に届けるための事業のため、 事業は必要である。				
CHECK	目的妥	事業進展等による環境変化 に伴い、対象を見直す(拡 大・縮小)必要はありませ んか?	.   ⊔ ຜາ⁴	その理由		としようと、	市民が対象	象なのは何も変わらない。	
		事業進展等による環境変化 に伴い、目的を見直す(目 的の追加・拡充又は絞込) 必要はありませんか?		その理由	ない。	E確な情報る	を市民に届け	<b>けるための手段のため、見直す必要は</b>	
	有	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか?	内容		送を増やし、	、同報系無	線の音達状	況の確認等を行う。	
	効性	目的達成状況	内容		概ね達成している。				
		市関与の必要性 (実施手法)	内容	。 口指定管	こ正確な情報	口補助	への全部委託 金・負担金E 届けるのは <sup>。</sup>		
	効 <sub>×</sub> 性	事務事業の統廃合により、 事業の効率化を図り、成果 を向上させる方法を記入し て下さい。	1 1 1 2	<b>3</b>	·		られる事業		
		現状より事業費・人件費を 削減する方法を記入して下 さい。(仕様の変更、外部 委託、従事時間の削減等は できないか?)	·   内 哲		り人件費、₹	事業費の削	減はできな!	l,°	
	公平性	受益者負担はありますか? また、受益者負担割合は適 正ですか?	i □ ない		現状で適正 検討が必要		防災ラジオ いただいて	については1台あたり3,000円の負担をいる。	
3改革改善	事民と	業実施上の課題、住 ・議会等からの意見 対応策 年度の事業計画は前	5災行政無線 N地域がある		の聞こえな	対応策	その都度調査し、増設を検討する。		
A C	年	年度の事業計画は前 度から変更・追加は るか	地局を1局	に新たに防災行政無線の 局増設した。 線の適正管理を行った		変 更 ・ 追 加	必要に応じて調査し、増設を検討し ていく。		
T I	今後の事業・コスト・成果の方向性					今後の事業の方向性、改革・改善案			
0 N		口 拡: 口 故: 口 改: 口 現:			防災行政:	無線のデジ	業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 タル化については、平成26(2014) い、平成27(2015)年度に導入した		
		□ 縮 ■ 統 □ 完 □ 廃.			増設の検  令和 5 (20	討を行って	り「防災情報発信事業(防災情報		
1		ストの方向性				1			

維持

増加

成果の方向性